

# 大分県下専門職能団体

## （拡大運営会議構成団体）活動報告

### <記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

# 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元 哲也



## 1. 協会の現況

<正会員数>241名（H27年2月28日時点） 賛助会員 6団体

<執行部>会長 副会長 常任理事 理事 計15名

平成26年度理事会開催 12回

<研修部>

### 【初任者研修】

主に経験年数3年未満の会員を対象とし、全3回実施した。

開催日：平成26年7月13日、7月27日、9月28日

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：

第1回 参加者：24名

『専門職能団体として知って貰いたいこと』

『病院にソーシャルワーカーがいる意味』

『ソーシャルワークの価値・倫理』

第2回 参加者：19名

『医療ソーシャルワーカーに必要な基礎知識Ⅰ [医療・社会資源]』

『医療ソーシャルワーカーに必要な基礎知識Ⅱ [面接技法・記録]』

第3回 参加者：19名

『事例検討の方法』

### 【初任者フォローアップ研修】

昨年度開催した初任者研修会「事例検討会の仕方」受講修了者と5年未満の会員で事例検討会の方法を知っている方を対象に実施した。参加者は13名。

開催日：平成26年9月28日

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：事例検討会

### 【実習指導者養成研修】

5年目～15年目までのソーシャルワーク業務に従事している会員、第7期までの当研修受講生で受講が終了しておらず補講が必要な会員、第7期までの当研修受講生で聴講希望者を対象とし、全3回実施した。今期の修了者は8名。

開催日：平成 26 年 7 月 13 日、8 月 3 日、8 月 24 日

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：

第 1 回 受講者：9 名

『ソーシャルワーカーの価値・倫理』

『組織・連携』

『相談援助実習指導概論』

第 2 回 受講者：10 名、聴講者：1 名

『実習マネジメント』

『実習プログラミング』

第 3 回 受講者：10 名、聴講者：1 名

『面接技法』・『スーパービジョン』

『実習場面におけるスーパービジョンの実際』

#### 【実習指導者養成研修フォローアップ研修】

当協会主催の「実習指導者（スーパーバイザー）養成研修」修了証受理者を対象として実施。参加者は 30 名。

開催日：平成 27 年 2 月 15 日

場 所：特定医療法人社団 春日会 黒木記念病院

内 容：『地域を基盤としたソーシャルワークをめぐる動向とMSWの役割』

—「実践を言葉で説明する力」の向上に向けて—

#### 【大分県社会福祉士会 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（他団体との連携）】

参加日数：全 10 日間

参加部員：4 名

#### <学術部>

平成 25 年度に行ったアンケート調査の解析により得られた、会員の「やりがい」を構成する 7 因子について、その諸相を明らかにする為研究を継続した結果、「やりがい」の実感において重要な要因が職場環境であると考察するに至った。その研究内容は『九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいだ大会』で発表した。又、7 因子について、職場環境との関係性を明らかにする為行った重回帰分析により更に考察を深めることが出来た。その分析内容は相川書房発刊の研究誌『ソーシャルワーク研究』へ投稿する為論文として完成させた。尚、アンケート調査の集計結果は平成 26 年度の定期総会資料に掲載し、加えて『九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいだ大会』で発表した。

## <広報部>

### 1. ホームページの更新

- ・研修案内等、全般の更新をその都度行った。計 52 回

### 2. Facebook の運用

- ・投稿、管理について、理事、広報部で行った。

ページに関するコンテンツをみたことのある人の数 34859 人 (4 月～1 月)

1 ヶ月平均、2904 人、1 日平均 113.9 人

登録者数 222 人

### 3. メールマガジンの普及活動と情報発信

- ・利用人数 201 人 / 発行部数 62 通
- ・協会を身近に感じてもらうために月 1 回「理事コラム」を発信。

### 4. 広報誌の発行

- ・協会ニュースかはら版の作成、発行を行った (年 3 回 9 月、特別号、3 月)
- ・各部より特派員を募集し、記事や写真の情報収集を行った。

### 5. 啓発活動

- ・協会案内チラシを作成し、研修会等にて配布した。
- ・7 月のソーシャルワーカーデイに合わせ、合同新聞に社会福祉専門 3 団体会長会インタビューを掲載。ソーシャルワーカーの活動等について広く紹介した (7 月 18 日号)。

## <ネットワーク推進部>

### 1. 地区コミュニケーション会議の実施

「ソーシャルかふえ」と称して軽食等を準備し、経験年数を問わず気軽に参加できる雰囲気づくりに努め、3 地区で開催した。内容は「やりがいを感じたこと」「やらかしたこと」等を題材に、グループごとに意見交換や会員間交流のため懇親会を行った

#### ①豊肥地区

日時：平成 26 年 6 月 28 日 (土) 場所：TANT (三重町) 参加人数：12 名

#### ②東部・北部地区

日時：平成 26 年 12 月 6 日 (土) 場所：黒木記念病院 参加人数：18 名

#### ③中部地区

日時：平成 27 年 2 月 7 日 (土) 場所：大分市コンパルホール 参加人数：25 名

### 2. リレーフォーライフ大分 2014 への参加

日時：平成 26 年 10 月 11 日 (土) ～12 日 (日)

場所：大分スポーツ公園大芝生広場 会員参加人数：36 名

内容：チーム「土 (さむらい)」として大分県理学療法士協会と共同参加し、準備・運営を行った。会員交流の一環としてメッセージ入り名札とメッセージボードを作成した。

### 3. MSW 配置・意識調査アンケートの実施

より良い協会運営・ネットワーク環境の構築、協会組織率の把握等を目的に「MSW 配置・意識調査アンケート」を実施。(前回 24 年度実施) 結果をホームページ上に掲載

### <災害ソーシャルワーク班>

今年度は、前年度に取得した公益法人在宅医療助成勇美記念財団から承認を得た『災害後の生活再建における在宅医療連携と医療ソーシャルワーカーの機能』についての研究を完了し、報告書を提出した。

研究では、医療ソーシャルワーカーがおこなった現地の活動や支援に関するインタビューに質的分析を行い、発揮されたソーシャルワークの機能を検証。

結果として、医療ソーシャルワーカーは、ジェネラリスト・ソーシャルワークを基軸に臨機応変な援助を展開。ミクロ～マクロに広がる範囲と過去～未来の時間的アセスメント、それに基づくプランニング、ネットワークキングの機能を特に発揮。その際、様々なジレンマに遭遇し、自己覚知を重ねながら、実践課題を把握し、対処方法や新たな実践を計画・実行するような、業務改善やセルフマネジメント機能の発揮も明らかとなった。

一方で、執行部と協働による災害ソーシャルワーク研修を実施。宮城県石巻市で日本医療福祉協会が展開する支援拠点の責任者から災害支援の報告を頂くとともに、大分県及び県内他団体の災害時の取り組みと構想についてシンポジウムを開催。

1. 班会議：全 15 回
2. 研究報告：8 月 28 日提出。9 月 5 日公益法人在宅医療助成勇美記念財団HPに掲載
3. 災害派遣福祉チーム（DWAT）人材養成基礎研修：平成 27 年 1 月 11 日～12 日
4. 災害ソーシャルワーク研修会：平成 27 年 3 月 29 日

### 2. 地域リハ関連活動取組（下記内容に伴う会議について省略）

- ・大分県地域包括ケア研究会
- ・地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・多職種共同による在宅チーム医療を担う地域リーダー研修
- ・大分市在宅医療・介護連携会議

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められる役割は大きい。当協会においては、個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現へ向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで地域の福祉向上の一端を担って行きたいと考えています。

# 公益社団法人 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



## 1. 会の現状

会員数 773名(平成27年3月31日現在)

職域分野(7)	支 部(7)
(1) 学校健康教育 49名	大 分(大分市・由布市)
(2) 公衆衛生 53名	別 府(別府市)
(3) 教育・研究 29名	東 部(日出・国東・杵築)
(4) 勤労者支援 14名	北 部(宇佐・中津・豊後高田)
(5) 地域活動 157名	豊 肥(竹田・豊後大野)
(6) 医 療 305名	南 部(佐伯・臼杵・津久見)
(7) 福 祉 166名	西 部(日田・玖珠)

## 2. 地域リハ関連の活動・取組

### 1) 研修会(後援・協力)

- ① 中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター実行委員会
- ② 大分地域リハビリテーション研究会
- ③ 大分地域リハビリテーション運営部会
- ④ 大分県リハビリテーション支援センター研修会
- ⑤ 第26回中部圏域大分地域リハビリテーション地域包括ケアシステム研修会
- ⑥ 中部圏域大分地域リハビリテーション研修会

## 3. 大分県栄養士会事業

### 1) 主催

- ① 生涯教育(卒後教育＝生涯職能開発)
- ② 各職域分野別研修会・各支部別研修会
- ③ 大分県栄養士会調理研修会(栄養士・調理担当者)
- ④ 大分県県栄養士会実務、新人研修会
- ⑤ 第14回大分県栄養士学会
- ⑥ 大分県スポーツ栄養研究会
- ⑦ 栄養ケア活動支援整備事業潜在管理栄養士発掘のための研修会
- ⑧ 地域包括ケアシステム会議担当者研修会
- ⑨ 第8回すこやか家族応援団子育て博覧会
- ⑩ ヘルパー調理講習会
- ⑪ 親子チャレンジクッキング
- ⑫ 男性料理教室

### 2) 共催

- ① おおいいた食のリハビリテーション研究会  
(大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)  
第15回研究・交流会「認知症の人への口腔ケアから喫食支援～最後まで  
口から食べるために～」

第16回研究・交流会「今度はとことん義歯～義歯で変わる」

医科歯科連携～成功へのロードマップ～「高齢社会を支える歯科の役割」

- ② 大分県社会福祉介護研修センター  
介護担当技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣
- ③ 保健医療団体協議会「げんきフェア」の開催

3) 会議出席

- ① 大分県リハビリテーション研究会・役員会・拡大運営委員会
- ② 中部圏域大分地域リハビリテーション支援センター連絡協議会・実行委員会
- ③ 大分県介護予防市町村支援委員会 口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
- ④ 大分県在宅歯科診療検討部会
- ⑤ 大分県医療費適正化委員会
- ⑥ 生涯健康県おおいた21推進協議会
- ⑦ 大分県体育協会スポーツ医科学委員会
- ⑧ 大分県豊の国8020運動推進協議会
- ⑨ 大分県糖尿病対策推進委員会
- ⑩ ヘルシースタートおおいた推進委員会
- ⑪ 大分県保健医療団体協議会理事・運営委員会
- ⑫ 大分県地域保健協議会 慢性腎臓病(CKD)予防対策推進会議・生活習慣病対策小委員会
- ⑬ 介護支援専門員医療・介護連携研修に係る検討会議
- ⑭ 地域ケア会議多職種派遣事業調整会議
- ⑮ 各市町村における地域ケア会議
- ⑯ 大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会
- ⑰ 大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会
- ⑱ アレルギー対策専門委員会

4) 介護予防の技術に関する事業(講師派遣)

職業能力開発支援事業(大分県竹工芸・訓練支援センター)介護講義(栄養・調理)

社会福祉施設給食担当者職員研修(大分県社会福祉介護研修センター)

通所型サービス事業所実践力向上研修(津久見市民会館)

摂食・嚥下セミナー(大分県社会福祉介護研修センター)

栄養管理・嚥下食・介護食の実際(調理実習)・事例報告

圏域サービス(通所介護)実践力向上研修会

(竹田市、由布市、九重町、アクトくにさき、中津市、デイサービスセンター春日)

介護職員初任者研修(下郡工業会館)現任者研修(大分県社会福祉介護研修センター)

口腔機能向上教室お口さわやか健康教室

地域介護予防活動支援事業(別府市)

介護入門教室

高齢者健康づくり指導者養成講座

5) 公民館・各種団体の依頼による講話や調理実習

(講話)・佐伯市立蒲江翔南中学校「出前講座」・大分県生活学校運動研究大会

・大分県臨床工学技士会教育セミナー・若年層への生活習慣改善教室

・健康講座(げんき教室)・健康経営事業所拡大事業における出前講座

・川西校区まちづくり会議講演会・アクティブヘルス教室修了生の会

- (調理実習)・いきいき健康料理教室 ・ふるさと料理教室
- ・単身赴任者等健康づくり推進事業
  - ・大分県腎臓病協議会青年部調理実習教室
  - ・エスペランサ・コレジオ調理実習 ・丹生校区民児協調理実習

#### 6) 栄養ケア・ステーション事業

- ① 話相談事業（毎週水曜日）
- ② 特定健診特定保健指導（由布市）
- ③ 調理師試験準備講習会（大分市・日田市・宇佐市・別府市・佐伯市）
- ④ 献血者栄養相談事業（会場：わさだタウン2F）
- ⑤ 大分キャノン健康後の集団事後指導（大分市・杵築市）
- ⑥ 由布市乳児健診（挟間・湯布院）カウンセリング・栄養相談
- ⑦ 栄養ケアバランスクッキング(別府市)

#### 4. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・医療と介護との連携による在宅支援  
高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防
- ・訪問栄養指導および栄養の相談を行うことにより高齢者のQOLの向上を計る
- ・地域ケア会議での栄養ケアマネジメントに対する理解  
（専門職としてのスキルアップ 管理栄養士の視点の統一）

#### 5. 厚生労働省国庫補助事業

平成 26 年度栄養 ケア活動支援整備事業

豊の国湯けむりプロジェクト～正しく食べて伸ばそう健康寿命～

（調剤薬局へ管理栄養士派遣＝栄養指導・栄養の相談）

#### 6. 広報活動

- ・ホームページによる啓発普及活動
- ・「栄養おおいた」「ゆたか」発行
- ・栄養、食生活関連パンフの配布

#### 地域ケア会議

##### ① 管理栄養士に対するスキルアップ研修の実施

栄養・食支援について専門的な視点から個人に対する栄養アセスメントを理解し適正な支援が出来るようスキルアップが重要であり、管理栄養士の質の向上を計るための研修会を実施する。

##### ② 他職種及び地域連携を密にして、食を通して生活を整えていく事業を展開する。

##### ③ 在宅訪問栄養指導の実際

高齢者の栄養改善は、食生活全般を見る必要があるため、複合的な(疾患、病状、栄養状態等)健康課題を持つ高齢者に対しての栄養及び食事の指導が必要である。特に「第二次生涯健康県おおいた 21」策定計画において各分野の取り組みについて協力し、介護予防にもつながる在宅訪問栄養指導の重要性を強く感じている。潜在管理栄養士を発掘し研修会を実施する。経験者を担保し医療と介護の連携を密にして介護予防にもつながる在宅訪問指導の実現を計りたい。

公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的として事業を展開しています。



# NPO 大分音楽療法研究会

会長 児玉典子



## ① 概要

「音楽療法」とは、リズム・メロディ・ハーモニー等の様々な音楽要素を心身の回復に用いる技法で、本邦では〈日本音楽療法学会(会員数約1万人)〉が中心になり、毎年“音楽療法士”を認定し、普及・啓発に努め、近年では、医療・リハビリ・福祉・教育など様々な現場で取り入れられております。

NPO 大分音楽療法研究会は平成9年(1997年)の発会以降、年6回をペースとして勉強会を行ない、年2回発行の会報は、会員だけでなく関係団体等にも配布をしております。

現在の会員数は、音楽療法実践者・施設関係者を併せ約60名が在籍し(年会費;6,000円)音楽療法に興味のある方なら誰でも気軽にご参加頂けることを信条としております。

大分県においても音楽療法は、障がい児・者療育、精神障がい者、脳卒中やパーキンソン病患者様などのリハビリ、認知症性高齢者の生きがい支援など、多くの分野で取り入れられております。

県内には約20数名の〈日本音楽療法学会認定音楽療法士〉が活動しておりますが、なにぶん同資格は学会認定の民間資格(国家資格化されていない)という状況にあり、教育・医療・福祉分野での広がりはなかなか厳しい状況と言わざるを得ません。周囲の施設の方々のご理解・ご協力なくしては、その現場はなかなか確保出来ないというのが現状です。

## ② 平成26年度の活動内容

26年5月25日(日曜日) 13:30~16:30 大分県ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

勉強会「口腔機能向上の重要性と実践」

・講師;渡辺抄子氏・梶川優子氏(中津歯科医師会協力歯科衛生士)

6月22日(日曜日) 13:30~16:30 大分県医師会館6階第1研修室

勉強会「音楽療法を通して今、思うこと」

・講師;小田佳代子氏(MHS音わか、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

勉強会「音楽療法について みんなで考えるワークショップ」

・講師;成瀬真弓氏(井野辺病院、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

8月24日(日曜日) 13:30~16:30 大分県医師会館6階第1研修室

勉強会「ターミナル期認知症高齢者に対する受動的音楽療法の導入に向けて」

・講師;田邊智之氏(老人保健施設ウエルハウスしらさぎ、  
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

11月30日(日曜日) 10:00~16:30 アステム大分4F 会議室

音楽療法セミナー「音楽療法に求められる即興・伴奏・作曲

~既成の楽譜に書かれていない事を音にする力~」

・講師;菅田文子氏(大垣女子短期大学准教授、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

27年2月1日(日曜日) 13:30~16:30 アステム大分4F 会議室

勉強会「集団音楽療法において聴覚障がい者A氏のコミュニケーションの拡大を図る試み」

・講師;野田恵美氏(デイサービス「この花」、音楽療法担当)

3月15日(日曜日) 13:30~16:30 大分県医師会館6階第1研修室

勉強会「ホスピス緩和ケアの音楽療法」

・講師；西本由美氏(熊本音楽療法研究会理事、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

### ③ 平成27年度の活動計画

27年5月31日(日曜日) 13:30~16:30(大分県医師会館6階第1研修室)

勉強会「生活に不安を抱えている人々と出会ったら

～ソーシャルワーカーの専門性を通して～」

・講師；岡江晃児氏(独立行政法人国立病院機構 大分医療センター  
社会福祉士/医療ソーシャルワーカー)

6月28日(日曜日) 13:30~16:30(大分県医師会館6階第1研修室)

勉強会「心療内科における最近の話題」 ・講師；熊本庄二郎氏

(くまもとココロクリニック、精神保健指定医、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

8月23日(日曜日) 13:30~16:30(アステム大分4階会議室)

勉強会「言語聴覚士の役割～コミュニケーション支援を通して～」

・講師；猪原智香子氏(井野辺病院リハビリテーション部 言語聴覚士)

勉強会「音楽療法士になるための新認定制度について」

・講師；川野真実氏(医療法人オレンジ会 杵築オレンジ病院、  
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

11月29日(日曜日) 10:00~16:30 (場所；未定)

音楽療法セミナー 「口腔機能パワーアップ大作戦

～音楽で“認知症” “ドライマウス”を予防する～」

・講師；甲谷至氏(神奈川リハビリテーション病院歯科口腔外科部長、  
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

28年2月7日(日曜日) 13:30~16:30 (場所；未定)

勉強会「高次脳機能障害がい者に対する音楽療法の試み」

・講師；加藤和恵氏(別府リハビリテーションセンター、理学療法士)

勉強会「内容未定」

・講師；利光佳子氏(ハートクリニック 作業療法士)

3月27日(日曜日) 13:30~16:30 (場所；未定)

勉強会「障がい児の音楽療法」～保育士としての発達支援を通して～

・講師；児玉典子氏(りずむらんど主宰、大分音楽療法研究会会長、  
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

### ④ 地域リハに関わる今後の課題や展望

県内の音楽療法士は現在、小児から高齢者まで多くの分野で活動しております。しかし、未だ音楽療法への正しい理解や認知度に於いて多くの課題があります。音楽療法の普及・啓発・啓蒙のために、専門職の皆様と連携させて頂きながら、地域に貢献していきたいと思っております。

(事務局:大分市大在浜 1-12-27(南)塚原楽器サービス内)

Tel / Fax 0972-24-1109 HP: [dispiano.web.fc2.com/kenkyukai.html](http://dispiano.web.fc2.com/kenkyukai.html))

# NPO法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千嶋 達夫



特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在、約480名の会員が在籍し、県下14支部協議会が組織化されています。

## 基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

## 平成26年度活動内容

### 1) 協会の運営

- ① 総会の開催 年1回
- ② 理事会 8回
- ③ 相談窓口の設置 随時

### 2) 組織強化

- ① 新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
- ② 各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③ 日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④ 事務局体制の整備

### 3) 研修・広報

- ① グループスーパービジョン（事例検討チーム）学習会
- ② 介護支援専門員試験受験対策講座
- ③ 介護支援専門員全国統一模擬試験
- ④ 主任介護支援専門員研修
- ⑤ 主任介護支援専門員実践力向上研修
- ⑥ 実務従事者基礎研修法定研修
- ⑦ グループスーパービジョンメンバーによる主任研修プレゼンテーション
- ⑧ 県南・県北地域での県介護支援専門員協会主催の研修

⑨ その他介護支援専門員の資質向上に関する研修

⑩ 広報誌の発刊、OBS ラジオ出演、月刊ケアリング「ケアマネージャー地方回覧板」

#### 4) 他団体との連携

大分県をはじめ、各種団体が行う会議等へ職能団として参画し、介護支援専門員の立場から積極的に意見や提言を行ってきました

##### 連携先団体名

- ・大分県老人福祉計画策定協議会
- ・大分県難病医療連絡協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分県認知症施策推進会議
- ・大分県在宅医療連携委員会
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会
- ・大分県地域保険協議会高齢者介護小委員会
- ・大分大学福祉科学講座実行委員会
- ・脳卒中懇話会
- ・大分県地域リハビリテーション支援センター 運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター 運営委員会及び福祉用具部会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- ・大分県地域包括ケア研究会 世話人会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

# 一般社団法人 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃 史



平成26年度	
<p>1. 労働環境の整備促進</p>	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士の就労実態と専門性の意識に関する調査 (日本介護福祉士会…以下、日介)</li> <li>・介護福祉士の仕事に関するアンケート調査 (日介)</li> <li>・介護福祉士のイメージアップに関する調査 (日介)</li> <li>・介護のイメージアップ戦略等調査研究委員会 (日介)</li> <li>・社会保障審議会福祉部会委員派遣 (日介)</li> <li>・社会保障審議会介護給付費分科会委員派遣 (日介)</li> </ul> <p>・技能実習制度を介護分野に導入する事等への反対運動 署名(3443筆・大分) (76890筆・全国) 決起集会 H26. 2.22 東京 ロビー活動 衛藤晟一氏ほか10名程</p> <p>・介護福祉士の職業倫理を研修会の多くに織り交ぜた。 利用者の一番の環境因子である私達に笑顔がないと利用者 はけっして笑顔になれないことを共通認識しセルフマネ ジメント力の強化を図りバーンアウトを防ぐべく倫理観を 享受した</p>
<p>2. キャリアアップの仕組み</p>	<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定介護福祉士制度の構築が遅延した (日介)</li> <li>・生涯研修制度の充実 (日介)</li> <li>・認知症専門研修 (日介)</li> <li>・キャリアパス研修会の開催3回 (大分) <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回平成26年9月21日 (日) (80名) 「BPSD (認知症の行動・心理症状) をケアで治そう」</li> <li>第2回平成26年11月29日 (土) (会員48名・非会員9名) 平成26年11月30日 (日) (会員53名・非会員10名) 「障がい者支援のための研修」</li> <li>第3回平成27年1月11日 (日) (会員60・非会員10名) 「介護福祉士のためのスーパービジョン」 ～介護福祉士のためのヒント集～</li> </ul> </li> </ul>
<p>3. 福祉・介護サービスの周知・理解</p>	<p>3. ・一般に向けた介護教室 (大分)</p> <p style="padding-left: 20px;">チャレンジ介護教室 三佐小学校 〃 賀来小・中学校 〃 豊府小学校 (3回)</p> <p style="padding-left: 20px;">出前介護教室 しおさい 野原老人会 (山香)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修センター事業福祉の心醸成事業への講師派遣 出席講師人数 20名 (大分)</li> </ul>

<p>4. 潜在的有資格者の参入の促進等</p>	<p>4. 潜在的有資格者を対象とした研修会の実施 再就職応援セミナー 平成 26 年 11 月 13 日（木）大分開催 9 名 平成 26 年 11 月 15 日（土）大分開催 13 名 ※同研修開催にあたり効果的手段と考え県下 14 市に市報への研修会開催の掲載を依頼し可否を問うた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載して下さった市 国東市・中津市・豊後大野市 … 3 市</li> <li>・不可の回答 … 5 市（大・別・由・杵・日）</li> <li>・無回答 … 6 市</li> </ul>
<p>5. 多様な人材の参入・参画の促進</p>	<p>5. ・初任者研修会 ・実習指導者養成研修の実施 ・ヘルパー 2 級資格取得講座講師派遣 ・介護福祉士国家模擬試験 ・実技試験受験準備講習会</p>
<p>6. その他</p>	

	平成27年度
1. 労働環境の整備促進	1. ・従前通り各種委員会への委員派遣 ・他専門職との連携を強化し介護職の社会的認知度を上げるための仕掛けづくり。 介護のルーティンワーク化の阻止。
2. キャリアアップの仕組みの構築	2. ・認定介護福祉士制度の確立（日介） ・生涯研修制度の確立（日介） ・介護学会・全国大会（日介） ・研修会（大分）※3回開催予定
3. 福祉・サービスの周知・理解	3. ・マスコミの活用！？ ・教育機関・高校へのPR活動 ・…。
4. 潜在的有資格者の参入の促進等	4. 潜在的有資格者を対象とした研修会の実施 再就職応援セミナー 潜在的介護福祉士の県での人数を概算するとリタイヤされた方等を引いても4000人ほどいらっしゃるのではないかと推察される。 研修会開催の周知を工夫する。
5. 多様な人材の参入・参画の促進	5. ・教育機関・高校へのPR活動 ・
6. その他	6. 平成28年11月25・26日 全国大会開催（ビーコン） 会員数の拡大  ・社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会の動向の注視

<平成27年4月30日現在 当会会員数 1450名>

# 公益社団法人 大分県看護協会

会長 松原 啓子



## 1. 大分県看護協会の現状

- 1) 会員数は9,207名。(平成27年3月31日現在)
- 2) 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護領域の開発・展開など8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3) 事業は、常任委員会(10)・職能委員会(4)の14委員会および県下を下記11地域に分けた地区活動により展開している。

- ①国東地区 ②別府・杵築・日出地区 ③大分中央地区 ④大分東部地区 ⑤大分西部地区  
 ⑥臼杵・津久見地区 ⑦由布地区 ⑧豊後大野・竹田地区 ⑨中津・宇佐・豊後高田地区  
 ⑩佐伯地区 ⑪日田・玖珠・九重地区

\*地区活動：DVDの教材提供(新人看護技術研修・医療安全・感染予防等)、看護の日事業(ふれあい看護体験等)、看護の集い、研修連携のための事業を実施

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### <県民の健康づくりの活動>

- 1) げんき教室 毎月第4水曜日 14:00~15:30 於) 大分県看護研修会館 高齢者対象

月	テ ー マ	講 師	人数
4月	おおいた文化笑論	可児 敦彦	93人
5月	健康は健口から	甲斐 智子	82人
6月	食中毒を予防しよう	岡本 和宏	84人
7月	熱中症にならないために	中尾 和恵	70人
8月	楽しく笑って、こころも元気	矢野 大和	109人
9月	大分市から：自分の体を知ろう	阿部友香里	83人
10月	筋力アップで元気づくり	伊藤千奈美	89人
11月	感染症を予防しよう！！	鎌田 善子	78人
12月	心も体も楽しいクリスマス	渡辺 洋子	87人
1月	認知症ケアーあれこれ	稲葉よろうち座	111人
2月	おいしく食べて 健康アップ	土谷 洋子	94人
3月	お薬のはなし	友成 朗	99人

平成26年度 皆勤賞…14名

- 2) 「まちの保健室」開催

- ①大分市生活文化展で開催 3日間(10/4.5.11)  
 於) 城址公園 ※血圧・体脂肪測定・健康相談 来場者 延511人
- ②「人とみどりふれあいいち」で開催 3日間(4/11・17・25)  
 於) 平和市民公園 ※血圧・体脂肪測定・血管年齢測定、健康相談 来場者 延200人
- ③大分県立図書館で開催 2日間(5/18・10/26)  
 於) 大分県立図書館 ※血圧・体脂肪測定、骨密度測定、健康相談 来場者延243人  
 ・併設：健康セミナー「こんにちは！訪問看護です」 1日(10/26) 参加者 11人



- ④「げんきフェア」 1日(11/2)  
 於)大分県社会福祉介護研修センター 主催:大分県保健医療団体協議会  
 ※血圧・体脂肪測定・血管年齢測定、健康相談 来場者 209人
- ⑤ふれあいフェスタ 1日(11/16) 於)大分県身体障害者福祉センター  
 ※血圧・体脂肪測定・血管年齢測定、健康相談 来場者 68人
- ⑥大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 1日(11/30)  
 於)別府ビーコンプラザ ※血圧・体脂肪測定、健康相談 来場者 19人
- 3)スポーツ救護講習会 (大分県スポーツ学会と共催)  
 3日コース・1回実施(3~5月):109人 受講者延 319人  
 大分県内のイベントやスポーツ救護などの要請に協力  
 スポーツ救護ナースの登録者:看護協会員 267人、非会員 171人
- 4)「平成26年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)  
 テーマ「安心して暮らし続けられる地域に向けて」  
 日 時:平成26年5月11日(土) 13:20~16:00 参加者 160人  
 特別講演:演題「地域住民にぜひとも聴いていただきたい宅老所のはなし」  
 講師 宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表 惣万佳代子氏  
 シンポジウム:テーマ「在宅生活を支えるために」  
 発表者:行政の立場から(大木治郎) 訪問看護ステーションの立場から(小野朱美)、  
 ヘルパーステーションの立場から(米田崇子)、家族の立場から(中野孝子)  
 「ふれあい看護体験」  
 大分県下9地区で実施 平成26年度... 91施設に589名の高校生が参加  
 ※助産師 保健師体験希望の高校生が増えている

### <教育・研修事業>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成26年度は、年間171研修・延425日実施し、受講者数は延18,175人。

#### 1) リハビリテーション関連研修は下記のとおり実施。

リハビリ関連研修 於)大分県看護研修会館

	研修名	①開催日・人数	②開催日・人数
1	呼吸理学療法	10/5 22	1/20 22
2	摂食・嚥下障害患者の看護	8/19 54	1/10 82
3	回復期リハビリテーションと看護師の役割	11/30 21	2/24 14
4	脳卒中患者の看護とリハビリテーション	8/31 21	2/9 17
5	高齢者の転倒転落防止	5/24 34	10/24 57
6	もっと高次脳機能障がいを理解しよう	10/26 26	3/3 24
7	排泄ケア(ウオスター・オスター)	11/27 27	-
8	褥瘡ケア	9/7 71	11/10 63
9	エビデンスに基づいた口腔ケア	9/8 31	2/21 23
10	ベッドサイドが面白い~視よう・知ろう・看護の力	7/11 29	2/18・19 36
12	在宅看護:身体機能維持のためのリハビリ、生活機能維持のための援助	5/15 32	-

13	在宅看護：入院患者を介護予防の視点から見る、治す医療から支える医療へ	8/26	55	-
14	在宅看護：摂食・嚥下ケア、口腔ケア	5/17	33	-
15	在宅看護：排泄ケア、服薬管理	6/19	25	-

#### <会議等>

- 1) 大分県地域リハビリテーション拡大運営会議出席 平成 26 年 5 月 21 日 (水)
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会
  - ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 平成 26 年 11 月 30 日 (日)
  - 病院等の看護職および看護協会から 5 名参加
  - ・運営部会に担当者 7 回出席
- 3) 大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 平成 26 年 7 月 21 日 (日)
- 病院等の看護職および看護協会から 2 名参加
- 4) 大分県地域リハビリテーション広域支援センター協議会 (大分)
- 平成 26 年 3 月 4 日 (水) 担当理事出席

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

#### 平成 27 年度 地域リハ関連の活動・取り組み

##### <県民の健康づくりの活動>

- 1) げんき教室 1 2 回開催
- 2) 「まちの保健室」開催 5 種類のまちの保健室開催予定 (H26 年度①～⑤と同様)
- 3) スポーツ救護講習会 (大分県スポーツ学会と共催) 1 回
- 4) 「平成 27 年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)
- 日 時：平成 27 年 5 月 10 日(日) 13:15～16:30
- シンポジウム発表者：医師の立場から (山岡憲夫)、デイサービスの立場から (平ヶ倉文雄)、  
訪問看護ステーションの立場から (原洋子)、  
行政の立場から (河野由紀子)
- 特別講演演題「このまちで暮らし、このまちで死ぬ」
- 講師：宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表 惣万佳代子氏

##### <教育・研修事業>

#### 1) リハビリテーション関連研修

- ①リハビリ関連研修を継続し、看護職の資質向上を図る 14 研修実施予定
- ②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化
- 県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習を受け入れ。

#### <会議等>

- 1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会
  - ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
  - ・運営部会
- 3) 大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- 病院等の看護職および看護協会から参加
- 4) 大分県地域リハビリテーション広域支援センター協議会 (大分)

# 公益社団法人 大分県言語聴覚士協会

会長 佐藤俊彦



## 1. 会の現状

- 1) 会員数及び施設数(平成 27 年 3 月 31 日現在)  
会員数：273 名 ※約 7 割が大分、別府に集中している  
施設数：90 施設

### 2) 構成：

事務局（総務部、事業部、財務部）  
社会局（広報部、地域連携部）  
学術局（学術研究部、教育研修部、小児研修部、通所訪問部）  
委員会（地域包括ケア委員会、災害時対策委員会）  
特別委員会（九州地区学術集会委員会）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 言語障害友の会「なし会」関連

- ①第 14 回総会・なし会春の行事  
日 時：平成 26 年 5 月 18 日（日）  
場 所：小楠コミュニティーセンター（中津市）  
参加者：34 名  
内 容：なし会総会、交流会等
- ②なし会忘年会  
日 時：平成 26 年 12 月 7 日（日）  
場 所：臼杵 湯の里  
参加者：47 名  
内 容：レクリエーション・交流会・食事会
- ③各ブロック会の開催及び参加  
回 数：1～2 ヶ月に 1 回程度（各ブロック会にて決定）  
内 容：会員間及び家族間の情報交換、食事会

### 2) げんきフェアへの参加

日 時：平成 26 年 11 月 2 日（日曜日）10 時～14 時 30 分  
目 的：言語聴覚士、他の医療職種の啓発活動  
方 法：大分県社会福祉介護研修センター 「センターまつり」との共催  
ブース展示、各種体験コーナー、相談コーナーの設置等

### 3) 大分県地域リハビリテーション関連

- ①第 11 回県リハセンター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会  
日 時：平成 26 年 7 月 27 日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
- ②第 2 回地域リハ研究会への協力  
日 時：平成 26 年 11 月 30 日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(社) 大分県栄養士会、(一社) 大分県歯科衛生士会、(一社) 大分県介護福祉士会、  
(一社) 大分県言語聴覚士協会

① 第10回研修会合同開催

5) 歳児発達相談会への派遣

- 1) 中津市            ～       派遣回数 4回
- 2) 竹田市            ～       派遣回数 3回
- 3) 杵築市            ～       派遣回数 5回
- 4) 日田市            ～       派遣回数 3回

(ことばの相談会への派遣)

- 1) 由布市            ～       派遣回数 2回

(巡回相談への派遣)

- 1) 由布市            ～       派遣回数 2回

(講演会への講師派遣)

- 1) 大分県難聴・言語障がい教育研究会

日 時：平成26年6月13日(金) 13:00～16:30

受講者：26名(主に小学校教員)

場 所：植田公民館

内 容：STの訓練内容・未就学児の言語発達段階など

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

公益社団法人大分県言語聴覚士協会の活動指針としては、「少子高齢社会を迎えた大分県において、地域のニーズに柔軟に対応するとともに、言語聴覚士の社会的地位の定着に寄与する」とし、具体的には「地域貢献」「生活をみられる言語聴覚士」「言語聴覚士の専門性の発揮」としています。

「地域貢献」としては平成26年度より杵築市にて地域ケア会議にアドバイザーとして参加し、平成27年度からは杵築市に加え、別府市・中津市・佐伯市・竹田市・由布市・国東市よりアドバイザー派遣を要請されています。地域リハビリテーション活動支援事業については、平成26年度下半期よりワーキンググループが始動し、地域啓発活動として、「失語症会話パートナー支援事業」「摂食嚥下に対する啓発活動」等を関連諸団体と協力したプロボノ活動を推進していきます。

また小児分野に関して、地域のニーズの高まりに対応すべく大分県下で小児言語聴覚療法を提供できる体制を整備することを目的に、主に成人施設に従事する言語聴覚士に向けた、小児分野の勉強会を充実させていく方針です。

地域リハの視点からは、職能団体の責務として、いわゆる「言語聴覚療法の追求」だけでなく、「生活をみられる言語聴覚士」の育成が急務です。

当協会では、平成25年度より広義のリハビリテーション(自立・ICF等)への理解を深めるため、地域ケア会議助言者養成講座を実施しております。平成27年度も地域リハ全般に対応する内容で実施していきます。

【対外的な活動】

**『地域づくりによる生活支援・介護予防の推進』**  
 >医療介護従事者や当事者団体、地域住民等に対する「教育」や「啓発活動」

大分県内、各市町村との連携を深めながら、地域のニーズを把握するとともに、言語聴覚士の専門性を発揮した「生活支援・介護予防」の提案・地域貢献

**地域ケア会議助言者・講師派遣養成講座**

行政・専門職能団体など  
 地域ケア会議助言者要請 研修会講師要請 等  
 地域ケア会議助言者派遣 研修会講師派遣 等

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会  
 窓口 地域包括ケア委員会  
 派遣の調整  
 地域ケア会議助言者 講師派遣養成講座卒業生

1クール：3回、合計10時間講座  
※26年度は4クール実施予定  
 内容：プレゼンテーション 模擬地域ケア会議 ティベート グループワーク 地域リハに関する講義

# 公益社団法人 大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



## 1. 会の現状 (H27. 3. 31 現在)

圏域	支部名	会員数	施設数	圏域	支部名	会員数	施設数
中部圏域	大分西支部	195	43	北部圏域	中津支部	42	17
	大分東支部	153	37		宇佐高田支部	57	12
	臼津支部	16	5	豊肥圏域	大野支部	37	9
東部圏域	別杵速見支部	131	34		竹田支部	26	5
	国東支部	17	7	南部圏域	佐伯支部	54	13
西部圏域	日田玖珠支部	31	12	自宅会員		38	-----
計						797	194

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 啓発・普及事業

- 作業療法一日体験  
H26. 7～8 / 会員所属施設 56 施設 [参加者] 県内高校生 169 名  
内容：作業療法体験，見学など
- 作業療法フェスタ 2014  
H26. 8. 17(日) / イオン パークプレイス大分店 [参加者] 約 600 名  
内容：作業療法(士)に関するクイズ，作業療法体験，福祉用具体験・展示，リハ・認知症相談，パンフ配布等
- 『作業療法の日』リハビリテーション相談  
H26. 9. 21(日) / 大分駅上野の森口広場  
内容：リハ相談，リーフレット・ウェットティッシュ配布等
- 「リレー・フォー・ライフ 2014in 大分」参加  
H26. 10. 11(土)～12(日) / 大分スポーツ公園大芝生広場  
[参加者] 63 名 (会員 42 名，家族・作業療法学生等 21 名)
- 「センターまつり 2014&第 15 回げんきフェア」作業療法コーナー設置  
H26. 11. 2(日) / 大分県社会福祉介護研修センター [来場者] 約 100 名  
内容：作業療法(士)に関するクイズ，作業療法体験 (プラ板作成)，リハ相談，パンフ配布等

- 「大分大学開放イベント 2014」作業療法コーナー設置  
H25. 11. 3(月)／大分大学旦野原キャンパス [来場者] 約 50 名  
内容：作業活動体験（フラッグ・プラ板作成），リハビリテーション・認知症相談，パンフレット配布等
- 「春日まつり」作業療法コーナー設置  
H26. 11. 9(日)／大分市立王子中学校体育館 [体験者] 約 100 名  
内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
- 作業療法ミニフェスタ
  - 作業療法ミニフェスタ in 三重「ふるさとまつり」  
H26. 11. 9(日)／大原総合体育館 [体験者] 約 100 名  
内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
  - 作業療法ミニフェスタ in 豊後高田「わくわくたかだこどもフェスタ」  
H26. 11. 9(日)／豊後高田市中央公園 [来場者] 約 120 名  
内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
  - 作業療法ミニフェスタ in 国東「第 25 回仏の里くにさきとみくじマラソン大会」  
H26. 11. 9(日)／国東市陸上競技場 [来場者] 約 100 名  
内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
  - 作業療法ミニフェスタ in 杵築「杵築市産業祭・みかん祭り」  
H27. 1. 19(日)／杵築市健康福祉センター [来場者] 約 200 名  
内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等

#### 研修会等

- 第 18 回大分県作業療法学会  
テーマ『地域包括ケアシステムの実現に向けて  
～いま作業療法士が果たすべき役割とは～』  
H27. 1. 25(日)／コンパルホール多目的ホール他 [参加者] 213 名  
特別講演「介護予防とヘルスプロモーションにおける作業療法士の役割」  
講師：安本勝博（岡山県津山市健康増進課主査/作業療法士）  
講演 I 「杵築市の挑戦」  
講師：江藤 修（杵築市高齢者支援課課長補佐）  
講演 II 「作業療法士一人一人が果たすべき役割」  
講師：佐藤孝臣（株式会社ライフリー）

- 第 32 回全体研修会  
 テーマ「認知症初期支援チームと作業療法士の具体的取り組み」  
 H27. 2. 15(日)／ホルトホール大分 [参加者] 91 名  
 講師：吉田知可（大分県高齢者福祉課地域包括ケア推進班）  
 松浦篤子（荒尾こころの郷病院）
- 生活行為向上マネジメント研修会
  - ①生活行為向上マネジメント研修会基礎コース  
 H26. 6. 1(日)／臼杵市医師会立コスモス病院 [参加者] 78 名
  - ②生活行為向上マネジメント研修会演習コース  
 H26. 8. 3(日)／大分県作業療法協会ビル [参加者] 24 名
  - ③生活行為向上マネジメント研修会実践コース  
 H26. 10. 19(日)／大分県社会教育統合センター [参加者] 36 名
  - ④生活行為向上マネジメント研修会追加研修  
 H27. 3. 15(日)／大分リハビリテーション専門学校 [参加者] 42 名
- 地域ケア会議助言者養成道場  
 H26. 6. 15(日)／大分県作業療法協会ビル [参加者] 14 名  
 内容：講義，グループディスカッション（事例を通して）
- 地域ケア会議助言者情報交換会Ⅰ  
 H26. 5. 28(水)／井野辺病院 [参加者] 32 名  
 内容：グループワーク，情報交換
- 地域ケア会議助言者情報交換会Ⅱ  
 H26. 12. 10(水)／井野辺病院 [参加者] 18 名  
 内容：グループワーク，情報交換
- 地域ケア会議新規助言者研修会  
 H27. 3. 13(金)／大分県作業療法協会ビル [参加者] 7 名  
 内容：地域ケア会議の目的や OT 助言者としての役割について
- 制度対策研修会Ⅰ  
 H26. 12. 14(日)／大分リハビリテーション専門学校 [参加者] 47 名  
 内容：平成 26 年度診療報酬改定と各種法制度改正から  
 OT に求められるものについて
- 制度対策研修会Ⅱ  
 H27. 3. 8(日)／藤華医療技術専門学校 [参加者] 73 名  
 内容：平成 27 年度介護報酬改定から OT に求められるものについて

- 第4回訪問リハビリテーション研修会  
 (大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会主催)  
 H27.2.8(日)・3.1(日)／大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス  
 [参加者] 119名 (うち当協会会員 50名)  
 内容：ターミナルケア～終活～，訪問リハにおける成果等
- 第11回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会  
 H26.7.27(日)／ビーコンプラザ国際会議室  
 内容：地域包括ケアシステム構築に向けた各市町村の取り組みについて
- 平成27年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会  
 H26.11.30(日)／ビーコンプラザ国際会議室  
 内容：当協会活動のポスター展示や相談ブースの設置
- 第8回九州作業療法士会長会主催合同研修会  
 H26.6.29(日)／麻生リハビリテーション大学校  
 [参加者] 70名 (うち当協会会員 5名)  
 内容：地域包括ケアシステムの概要と背景  
           地域包括ケアシステム推進に向けた大分県の取り組み  
           地域ケア会議助言者の確保と育成  
           地域ケア会議の実際と助言者としてのOTの役割
- 第9回九州作業療法士会長会主催合同研修会  
 H27.2.7・8(土・日)／長崎市立図書館 [参加者] 94名 (うち当協会会員 8名)  
 講演・演習「機能するコミュニケーションについて」  
           講師：山田美津子 (T-Wing 代表，コーチ・コミュニケーショントレーナー)  
 講演「地域包括ケアシステムにおけるOTの役割」  
           講師：宮永敬市 (北九州市保健福祉局 介護保険課 地域支援事業担当係長)

#### 人材派遣等

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
  - (1) 大分県地域ケア会議多職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣  
 派遣先：豊後高田市，杵築市，豊後大野市，臼杵市，津久見市，別府市，由布市，国東市，日出町，九重町，中津市，日田市，玖珠町，佐伯市，大分市，竹田市，宇佐市 (17市町)  
 派遣者：延べ62名 (登録者 56名)      派遣回数：225回
  - (2) 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣  
 推薦者：リーディングコーディネーター 3名，リーディングアドバイザー 6名



派遣先：大分市，別府市，中津市，日出町，玖珠町，九重町（6市町）

派遣者：3名／派遣回数：10回

内容：研修会講師，模擬ケア会議助言者，地域ケア会議への助言等

- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦

推薦先：大分市，中津市，日田市，宇佐市，豊後大野市／推薦者：17名

- 市町村等の障害支援区分認定審査会委員の推薦

推薦先：日田市／推薦者：1名

- 研修会等への講師等派遣

研修会等名称	年月日	場 所	内 容
<b>&lt; 県内 &gt;</b>			
第2回地域包括ケア研修会 (大分県言語聴覚士協会主催)	H26. 5. 11(日)	大分県消費生活・男女 共同参画プラザアイネ ス	講演「地域ケア会議アドバ イザーとしての言語聴覚士 に求めるもの」
豊後高田市乳幼児障がい早 期ケア事業	H26. 5. 23(金)	豊後高田市健康交流セ ンター 花いろ	
	H26. 9. 19(金)		
	H26. 11. 14(金)		
平成26年度圏域サービス (通所介護)事業所実践力 向上研修会	H26. 7. 22(火)	九重町役場	講演「生活機能評価，ADL・ IADL のアセスメント」「生 活機能向上支援プログラム と評価」
	H26. 7. 23(水)	豊泉荘	
	H26. 7. 25(金)	津久見市民会館	
	H26. 7. 29(火)	由布市役所庄内庁舎	
平成26年度豊肥圏域サービ ス事業所実践力向上研修	H26. 8. 5(火)		講演「生活機能向上プログ ラムと評価」
平成26年度地域包括支援セ ンター現任者研修	H26. 8. 25(月)	大分県消費生活・男女 共同参画プラザアイネ ス	講演「ADL・IADL のアセスマ ント」
大分県リハビリテーション 支援センター研修会	H26. 8. 27(水)	湯布院病院保健学習棟	講演「地域包括ケアシステ ムにおける作業療法士の関 わりと連携について」
高齢者現代セミナー「北部 中高年現代セミナー」	H26. 9. 16(火)	別府市北部地区公民館	講演「いつまでも、住み慣 れた場所でお元気に」
平成26年度第2回介護予防 支援従事者研修・サービス 事業所実践力向上研修合同 研修会	H26. 9. 26(金)	佐伯市保健福祉総合セ ンター和楽	講演「生活機能評価，ADL・ IADL のアセスメント」「生 活機能向上プログラムと評 価」
平成26年度介護福祉士初任 者研修	H26. 9. 28(日)	大分県社会福祉介護研 修センター	講演「福祉用具の意義と活 用」
北部圏域サービス事業所実 践力向上研修	H26. 10. 8(水)	中津教育福祉センター	講演「生活機能評価，ADL・ IADL のアセスメント」「生 活機能向上プログラムと評 価」

認知症予防対策推進事業検討会（大分県主催）	H26. 10. 20(月)	大分大学医学部臨床研修センター	
平成 26 年度介護職員現任者研修（基礎課程）	H26. 10. 29(土)	大分県社会福祉介護研修センター	講演「生活機能のアセスメントについて」
	H26. 11. 27(木)		
	H26. 12. 18(木)		
平成 26 年度訪問・通所介護事業所サービス計画担当者研修（応用課程）	H27. 1. 10(土)	大分県社会福祉介護研修センター	成功事例発表、模擬地域ケア会議における助言
竹田市介護保険サービス事業所実践力向上研修	H27. 2. 10(火)	竹田市総合社会福祉センター	講演「生活機能向上プログラムと評価」
「日出町介護ネットワーク会議」研修会	H27. 2. 18(水)	日出町役場	講演「認知症の発症予防、重症化予防を目的としたリハビリの種類や方法、高齢者への関わり方、認知所カフェの活動の様子等」
大分県知的障がい者 陸上コーチ資格養成講習会	H27. 2. 21(土)	別府リハビリテーションセンター	
明野地域介護支援専門員研修	H27. 3. 17(火)	大分県社会介護研修センター	講演「自立支援に向けたリハビリについての考え方、今後の高齢者のリハビリテーションのあるべき方向について」
<b>&lt; 県外 &gt;</b>			
第 8 回九州作業療法士会長会主催合同研修会	H26. 6. 29(日)	麻生リハビリテーション大学校	地域包括ケアシステム推進に向けた大分県の取り組み、他
第 12 回日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会	H26. 7. 26(土) H26. 7. 27(日)	シダックスホール 2	地域包括ケアシステム構築に向けた当協会の取り組み
模擬地域ケア会議への助言者派遣〔福岡県主催〕	H26. 12. 20(土)	九州大学医学部百年講堂	内容：模擬地域ケア会議における助言、意見交換
認知症初期支援集中支援チーム研修〔日本作業療法士協会主催〕	H27. 1. 25(日)	TKP ガーデンシティ永田町	内容：作業療法士の組織的な対応～各都道府県士会の対応、各機関との連携
平成 26 年度 POS 合同研修会〔北海道 PT・OT・ST 士会主催〕	H27. 1. 31(土)	札幌医療リハビリ専門学校	講演「地域包括ケアシステムにおけるリハ専門職の役割」
第 19 回福岡県作業療法学会〔福岡県作業療法協会主催〕	H27. 2. 14(土)	アクロス福岡	教育講演「地域ケア会議」
「地域ケア会議について」研修会〔秋田県作業療法士会主催〕	H27. 3. 8(日)	秋田大学大学院	地域ケア会議についての活動紹介、シンポジウム、グループワーク

## その他

### 1) 広報誌「伝 DEN」の発行

No. 12 (H26. 4), No. 13 (H26. 8), No. 14 (H27. 1), No. 15 (H27. 3)

各 2,300 部発行

県内市町村, 県内高等学校, 地域包括支援センター, 会員所属施設,

(一社) 日本作業療法士協会, 九州各県士会などに発送

## 2) 関連諸団体との連携

- \*大分県老人福祉計画策定協議会 委員
- \*大分県リハビリテーション協議会 委員
- \*大分県介護予防市町村支援委員会 委員（運動機能向上専門部会）
- \*大分県地域包括ケア推進会議 委員
- \*大分県生活機能向上支援マニュアル検討委員会 委員
- \*大分県社会福祉介護研修センター 運営委員  
（福祉用具専門部会，介護ロボット普及促進協議会）
- \*大分県リハビリテーション支援センター連絡協議会 委員
- \*地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 委員
- \*大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会 委員
- \*大分県障がい者体育協会ジュニア育成委員会 委員
- \*大分県リハビリテーション医学会 理事
- \*大分県地域リハビリテーション研究会 会員
- \*大分県脳卒中懇話会 世話人
- \*大分県保健医療団体協議会 会員
- \*大分県高次脳機能障がい連絡協議会 会員
- \*大分県地域包括ケア研究会 世話人
- \*（一社）大分県スポーツ学会 理事，人材育成委員，賛助会員
- \*大分県排尿リハビリテーション・ケア研究会 世話人
- \*大分県HAL®研究会 世話人
- \*大分県障害児スポーツ活動連絡会議 委員

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成26年度は、大分県内の地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みがより一層本格化し、地域ケア会議の助言者や広域支援員の推薦・派遣、介護予防事業等への講師等の派遣が飛躍的に増加した。加えて、大分県の先進的取り組みが県外の自治体や作業療法士会から注目され、複数の道県から講師依頼等があった。こうした人材の推薦・派遣に関し、量と質を継続的に担保するため、各種研修会や情報交換会等を積極的に行ったところである。

また、例年実施している事業に加え、豊後高田市、国東市、杵築市において作業療法ミニフェスタを開催し、県民に対する啓発普及事業をさらに広域で展開することができた。

今後、ますます多様化する地域からの期待に職能団体として応えられるよう研鑽を積むとともに、人材の確保・育成、資質の向上を図り、より県民の身近なところで活動できるよう努めていく。

# 社団法人 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



## 1. 会の現状

会員数：623名（平成27年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当し活動を行っています。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### \* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしています。

昨年度の第21回高齢者のよい歯のコンクールでは優秀賞5名、優良賞10名を選出し表彰しました。

### \* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問し、歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による歯科保健指導や口腔ケア、歯科技工士による義歯のネーム入れを行います。また、施設関係者と入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合います。26年度は、別府市の「介護老人保健施設 いでゆの園」を訪問しました。

### \* 障がい者施設訪問歯科保健事業

障がい者施設を大分県歯科衛生士会と共に訪問し、歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による「お口の健康体操」などの歯科保健指導や口腔ケアを行います。26年度は、杵築市の「白萩園」を訪問しました。

### \* 介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会を開催しています。会員だけでなく介護施設にも案内状を送っており、口腔ケアの普及啓発を行っています。26年度の研修会は、昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授の弘中祥次司先生をお招きし「高齢者の摂食嚥下機能の回復と介護職の役割」について、ご講演いただきました。

### \* 障がい者歯科保健研修会の開催

会員や障がい者施設職員に対して、口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催しています。26年度の研修会は、東京都立心身障害者口腔保健センターの石井里加子先生をお招きし「QOLを支える歯と口の健康づくり・障がいのある人の口腔ケア」

という演題でご講演をいただきました。

＊障がい児者口腔状況把握事業

県よりの委託事業として、のべ92人の歯科医師会員が、県下32施設の障がい者施設を訪問し、733名を健診しました。

＊障がい児者歯科診療状況実態調査

県よりの委託事業として、大分県歯科医師会員に対して障がい者の歯科治療対応状況を調査し、大分県歯科医師会HPに、開示しました。

＊各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

本県の高次障がい者歯科医療機関は、一か所のみであり、重度障がい者の歯科医療提供体制は充実していません。また、高次医療機関と一般開業医の連携体制も整備されていません。

今年度、既存の高次歯科医療機関、県行政、本会をはじめとする関係機関により、重度障がい者歯科医療体制についての協議会が立ち上がる予定です。より一層の障がい者歯科保健事業の充実を図り、障がい者が、県内で安心して歯科治療ができる体制づくりを進めます。

# 一般社団法人 大分県歯科衛生士会

会長 有松ひとみ



1. 会員数 239名（平成27年3月31日現在）  
2支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵）22名、豊肥地区（竹田・豊後大野）17名

## 2. 地域リハ関連の取り組み

- I 主催事業：第3回九州歯科衛生士研究大会 参加人数 214名  
日時：平成27年1月25日(日) 場所：大分県歯科医師会館  
ー歯科衛生士の明日を拓くー 【一部大分県委託事業】  
「地域ジェネラルビューイング～歯科から暮らしを支える～」

## II 主催研修会

- 【摂食嚥下機能療法の基本技術研修会】受講人数：109名
- 26.5.18(日)「脳血管疾患の病態と摂食・嚥下障害」
  - 26.8.30(土)「生活に繋げる口のリハビリテーション」
- 【リフレッシュ研修会】受講人数：59名
- 26.6.29(日)「歯科診療所における医療安全管理対策」
- 【歯周病研修会】受講人数：138名
- 26.8.3(日)「歯科発ヘルシーライフプロモーションと抗加齢ー健康長寿延伸めざす歯科医療と食・保健指導の関係ー」「歯科と関係した食育・生活習慣改善アドバイスの実際ー疾患予防から美しい体づくり」
  - 27.3.1(日)「高齢者・有病者・在宅者への対応」「歯科衛生ケアプロセスの基本知識・技術ーガン手術患者の歯科治療・口腔ケアも含めてー」
- 【障がい者研修会】受講人数：17名
- 26.9.23(日)「肢体不自由者(児)の食支援と口腔ケア～安全に食べるために」
- 【言語聴覚士との合同研修会】受講人数：37名
- 26.12.14(日)「口腔革命」
- 【リカバリーセミナー（大分県歯科医師会共催）】受講人数：23名
- 27.2.15(日)「歯科治療の現状」「歯科臨床における感染対策・医療安全」「患者指導」「最近の歯科材料・器材」

## III 後援・協力研修会

- ①第11回大分県地域リハビリテーション研究会、大分県リハビリテーション支援センター合同研修会(別府ビーコンプラザ) 26.7.27(日)
- ②おおいた食のリハビリテーション研究会研修会(介護研修センター)
- 第15回「認知症の方への口腔ケアからの喫食支援」 26.7.13(日)
  - 第16回「今度はとことん義歯～義歯で変わる～」 27.3.15(日)

- ③大分県保健医療団体協議会 第15回元気フェア(介護研修センター)26.11.2(日)
- ④第6回大分地域リハビリテーション・ケア研究会研修会(別府ビーコンプラザ)
  - 「地域包括ケアシステム～自立支援を考える」 26.11.30(日)

#### IV 講師派遣【抜粋】

- ・障がい児（者）施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ・大分県域介護予防事業及び口腔機能向上教室
- ・大分県社会福祉介護研修センターでの摂食・嚥下セミナー及び介護教室
- ・中部圏域地域リハビリテーション広域支援センター研修会
- ・圏域サービス事業所（通所介護）実践力向上研修会 6圏域8会場

#### V 会議出席【抜粋】

##### ①地域リハビリテーション関係

- ・大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター  
（北部、東部、中部、豊肥、南部県域）
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 役員会 運営委員会

##### ②行政関係

- ・大分県 8020 運動推進協議会
- ・大分県口腔機能向上栄養専門部門部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分市及び別府市母子保健小委員会
- ・各保健所地域在宅歯科診療検討協議会
- ・各保健所地域歯科保健検討会
- ・大分県地域包括ケア関連会議
  - 大分県地域ケア会議多職種派遣事業調整会議
  - 大分県生活機能向上支援マニュアル検討委員会

##### ③その他

- ・大分県災害支援ボランティアネットワーク連絡協議会
- ・市町村災害ボランティア体験型研修会 検討委員会
- ・TOS 子育て博覧会 担当者打ち合わせ会議

#### VI 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ・平成26年6月2日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者712名
- ・平成26年8月23日(土) 老人保健福祉施設いでゆの園(別府市) 訪問事業
- ・平成26年11月29日(土) 社会福祉法人みのり村(杵築市) 訪問事業

### 3. 課題・今後の展開

歯科衛生士は歯科や口腔の専門性を活かし、食べる幸せを支えながら、ジェネラルな視点で暮らしや生活を支援する資質が求められていると感じます。そのための人材育成とシステムづくりが課題といえます。誕生前から生を終えられる瞬間まで関われる職種として、ライフステージ別予防教育の普及を軸に、医療・介護・保健・福祉をシームレスに繋ぎ、地域住民のQOL向上と健康増進のために、これからも力を注ぎ努力を重ねていきたいと思っております。

# 大分県視能訓練士会

会長 安田昌子



## 1. 会の現状

大分県の視能訓練士の有資格者からなる団体です。県内の視能訓練士の知識や技術の向上を目的に、平成23年12月4日に「おおいた視能訓練士勉強会」として発足しました。会員は約100名で、年に1～2度の勉強会を開催していましたが、次第に、ただ勉強会で集まるだけでなく視能訓練士として社会に貢献したいという意欲が高まってまいりました。

平成26年11月の総会にて「大分県視能訓練士会」と名称を変更し、平成27年度より「大分県地域リハビリテーション研究会」と「大分県保健医療団体協議会」に加盟させていただきました。また、日本視能訓練士協会の生涯教育認定事業の認定を現在申請中です。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ・大分県視能訓練士会 第4回 勉強会

日 時：平成26年11月9日（日）

場 所：大分視能訓練士専門学校

内 容：(1) 大分県立盲学校の先生をお招きして

(2) 3歳児健康診査について

参加者：57名

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

27年度より当会も地域リハ活動に参加させていただきます。まだ発足して間もないため、皆様にご迷惑をおかけするかと存じますが、「目」の健康管理のエキスパートとして、県内の医療・保健・福祉の発展に少しでも貢献できるよう努力してまいります。

何卒よろしくお願い申し上げます。



# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長 深見 憲一

## 1 会の現状

会員センター 62センター

- ・地域包括支援センター 46センター
- ・在宅介護支援センター 9センター
- ・地域総合相談支援センター 7センター

## 2 主な活動・取り組み

### (1) 研修会等の開催

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日 時 平成26年10月10日(金) 13:00～15:00

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参 加 77名

内 容 講 義「介護保険制度改正について」

講 師 厚生労働省 老健局振興課 課長補佐 川部勝一 氏

### (2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援

## 3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ①第11回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ②第17回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ③第18回大分大学福祉フォーラム
- ④平成26年度高次脳機能障がい職種別研修会
- ⑤第18回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ⑥大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業 等

## 4 関係機関・団体との連携

### (1) 県内関係機関・団体との連携

- ①大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
- ②大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会への出席
- ③大分県消費生活審議会への出席
- ④大分県介護予防市町村支援委員会への出席 等

(2) 県との協調・支援

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

## 5 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成26年11月13日(木)～14日(金)

会 場 ルークプラザホテル(長崎市)

参 加 188名(22名)

内 容 **基調報告**「地域包括支援センター・在宅介護支援センターとしての今後の戦略」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

会 長 青木 佳之 氏

**行政説明**「地域包括・在宅介護支援センターの目指すところ」

～制度改正により今後求められること～

厚生労働省老健局総務課 総括課長補佐 遠藤征也 氏

**講演 I**「医療と介護の連携 ながさきの取組み」

医療法人白髭内科医院 院長 白髭 豊 氏

**講演 II**「医療と介護の統合」

医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所

院 長 川越 正平 氏

**シンポジウム**「医療と介護の統合」

座 長:

長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会

会 長 辻 敏子 氏

コーディネーター:

医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所 院 長 川越 正平 氏

パネリスト:

延岡市高齢者福祉課 高齢者支援係 主任主事 山崎真梨子 氏

中津市地域包括支援センターいずみの園 課 長 伊藤 保幸 氏

# 大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居 光雄



## 1. 会の現状

- 会 長：武居光雄
- 副 会 長：三浦晃史、有松ひとみ
- 幹 事：各団体より代表者 1 名
- 監 事：長岡博志、河野俊貴
- 顧 問：根橋良雄、原田禎二、本田昇司
- 名誉顧問：有田 眞、佐竹孝之
- 所属団体：18 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(公社)大分県臨床検査技師会	(一社)大分県歯科医師会	(一社)大分県歯科衛生士会
(一社)大分県介護福祉士会	大分県臨床心理士会	大分県介護支援専門員協会
大分県医療ソーシャルワーカー協会	NPO 大分音楽療法研究会	大分県視能訓練士協会

## 2. 平成 26 年度 活動報告

### ① 第 11 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 26 年 7 月 27 日(日)

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：257 名

#### ➤ シンポジウム

テーマ：『地域包括ケアシステムの構築Ⅱ～介護予防への取り組み～』

コメンテーター：厚生労働省 老健局 逢坂悟郎氏

シンポジスト①：NPO 法人「笑顔」 理事長 後藤康代氏

シンポジスト②：豊後大野市 高齢者福祉課 介護保険係 小野正和氏

シンポジスト③：豊後高田市 保険年金課 瀬々賢幸氏

シンポジスト④：高齢者ケアセンター茶寿苑 管理栄養士 曾我優子氏

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

(公社)大分県栄養士会 濱田美紀

### ② 平成 26 年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会の開催

日 時：平成 26 年 11 月 30 日(日)

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：95 名

テーマ：『地域包括ケアシステム～自立支援を考える～生活習慣病予防・早期発見・介護予防～』

- (1) 講演①：『地域包括ケアシステムの構築を目指してー地域住民で支える地域作りー』  
講 師：大分県中部保健所所長 藤内修二先生  
司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄
- (2) 講演②：『介護予防の実際』  
講 師：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一  
司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄
- (3) 各職能団体の展示・相談ブースの設置

③ 名義後援

- 地域包括ケアシステム研修会(平成 26 年 5 月 28 日)
- (公社)大分県理学療法士協会 公開講座(平成 26 年 8 月 24 日)
- 第 32 回大分県病院学会(平成 26 年 11 月 16 日)
- 第 3 回九州歯科衛生士研究大会(平成 27 年 1 月 25 日)

④ 広報誌の発行

第 21 号：印刷部数 500 部(平成 27 年 3 月 31 日発行)

⑤ 運営部会の開催

- 第 1 回：平成 26 年 4 月 28 日(月)
- 第 2 回：平成 26 年 6 月 11 日(水)
- 第 3 回：平成 26 年 7 月 14 日(月)
- 第 4 回：平成 26 年 8 月 18 日(月)
- 第 5 回：平成 26 年 10 月 6 日(月)
- 第 6 回：平成 26 年 11 月 10 日(月)
- 第 7 回：平成 27 年 2 月 18 日(水)

⑥ 役員会の開催

- 第 23 回：平成 26 年 5 月 12 日(月)
- 第 24 回：平成 27 年 3 月 17 日(月)

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

当研究会は今日まで、県リハセンターとの合同研修会やリハ・ケア研究大会及び研修会を通じ、県内の地域リハビリテーションの啓発及び普及に努めてきました。本年度は『第 6 回大分地域リハ・ケア研究大会』を通して、更なる多職種間の相互理解と連携を深め、地域包括ケアシステムの構築や円滑な運営に向け活動してきたいと考えています。今後も、会員(職能団体)の力をお借りしながら、県や市町村及び地域住民の方々と連携を取り、高齢者のみならず様々な障害児・者についてももしっかり活動していけるよう努力していきます。

# 一般社団法人 大分県病院協会

会長 川 篤 眞 人



## I. 会の現状

### 1. 病院協会の現状(H27.3.31 現在)

(1)会員数 128 病院

#### (2)構成

- ・会 長 川 篤 眞 人 (川 篤 整形外科病院)
- ・副会長 松本 文六 (天心堂へつぎ病院)
- ・副会長 畑 洋一 (畑 病院)
- ・地区毎の理事、及び所属病院数
  - 県北(所属病院数 24) 理事 佐藤仁一、瀧上 茂
  - 別杵(所属病院数 23) 理事 黒木健次、山本記顯
  - 大分(所属病院数 48) 理事 武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、秋満忠郁
  - 久大(所属病院数 19) 理事 山本 亨、後藤憲文
  - 豊肥(所属病院数 4) 理事 大久保健作
  - 県南(所属病院数 10) 理事 小寺 隆、曾根 勝
- ・監事 豊田貫雄、長松宜哉
- ・名誉会長 井野邊 義一、顧問 岡 宗由、参与 野口 志郎

### 2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の役割分担と診療機能と質の向上
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と慈悲の心、思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の院内外連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任をもって仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の切磋琢磨、親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 被災地への支援の継続と来るべき南海トラフ大地震災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築へ向けて役割を果たす
- 12) 「苦楽吉祥」へこたれない活力ある人財を育成
- 13) TQM,BSC などのマネジメントシステムの導入
- 14) インフルエンザ、ノロウイルス、院内感染などの感染予防対策
- 15) 地域医療ビジョンへの取り組み
- 16) 新たな財政支援制度に対する取り組み

## II. 活動と取り組み

### A. 病院協会の活動報告

#### (1)平成 26 年度一般社団法人大分県病院協会定時社員総会

- ・開催日時 平成 26 年 6 月 28 日土曜日 午後 3 時
- ・場 所 大分センチュリーホテル 2F「桜の間」(大分市府内町 1-4-28)

- ・特別講演 参加者 71 名  
演 題 「大分の産業活力創造に向けて」  
講 師 西山英将 氏（大分県商工労働部長）

(2) 理 事 会 計 6 回開催

- (3) 第 32 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催  
第 32 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催

(4) 第 32 回大分県病院学会

- ・学会テーマ 「苦楽吉祥 ー活路を見いだそうー」
- ・開催日時 平成 26 年 11 月 16 日(日) 8:40～16:10
- ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
- ・参加人員(概数) 医師 56 名 事務部会 430 名 看護部会 976 名 栄養部会 108 名  
医療技術部会 476 名 社会福祉部会 147 名 その他 385 名 計 2,578 名

・特別講演

- 演 題 「医療制度改革」と「診療報酬改定」
- 講 師 猪口 雄二 先生（全日本病院協会 副会長  
・医療法人財団寿康会 理事長 寿康会病院）

- ・シンポジウム 「苦楽吉祥 ー活路を見いだそうー」  
～我が病院の経営改善策・人材育成の視点から～

シンポジスト

- 阿南 英治 先生（社会医療法人社団 大久保病院 事務部 企画課長）
- 甲斐かつ子 先生（社会医療法人小寺会 佐伯中央病院 副院長 兼 看護局長）
- 田中 英明 先生（特定医療法人社団春日会 黒木記念病院  
リハビリテーション部 教育課 副部長）

- ・分科会 演題総数 178 題 （ 口演 66 題 ・ ポスター 112 題 ）

(5) 名義後援

- ・地域包括ケアシステム研修会
- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・大分県排尿リハビリテーション・ケア研究会
- ・大分県老人保健施設大会 他

B. 部会(コメディカル部門)の活動報告

1. 事務部会

(1) 研修会

- 1) 平成 26 年度第 1 回事務部会研修会
  - ・平成 26 年 5 月 23 日(金) 14:00～16:30
  - ・開催場所 大分県医師会館7階大会議室
  - ・出席人数 186 名 (107 医療機関)
  - ・内 容 : 1) 平成 26 年度診療報酬改定について  
2) 今後の病院経営について

### 3)その他

- ・講師 村上 佳子 (メディカル 21 代表)

## (2)委員会計 1 回 開催

## 2. 看護部会

### (1)研修会

#### 1)平成 26 年度第 1 回 看護部会研修会

- ・平成 26 年 7 月 26 日(土)14:00～16:00
- ・開催場所 大分県医師会館7階大会議室
- ・出席人数 172 名
- ・テーマ 「より良い認知症看護の実践を通して」
- ・講師 三重野 英子 (大分大学医学部看護学科 教授)  
渡邊 裕美 (天心堂へつぎ病院 病棟科長)

#### 2)平成 26 年度第 2 回 看護部会研修会

- ・平成 26 年 10 月 18 日(土)13:30～15:00
- ・開催場所 全労災ソレイユ 7 階 カトレア
- ・出席人数 161 名
- ・テーマ 「災害時の取り組み ～日頃からの準備から当日の対応について～」
- ・講師 金 愛子 (石巻赤十字病院 看護部長)

## (2)委員会 計 3 回開催

## 3. 栄養部会

### (1)研修会

#### 1)平成 26 年第 1 回 栄養部会研修会

- ・平成 26 年 7 月 19 日(土)13:00～17:00
- ・開催場所 大分県医師会館 6 階研修室 I
- ・出席人数 75 名
- ・一般演題 I : 「重症心身障害者の誤嚥性肺炎に対する予測因子の検討  
～当院における口腔環境と発熱状態の比較～」
- ・講師 原 徳美 (西別府病院 歯科衛生士)
- ・一般演題 II : 「創傷チームにおける栄養士の役割」
- ・講師 長尾 智己 (大分岡病院 管理栄養士)
- ・一般演題 III : 「糖尿病を基礎疾患に持つ低栄養患者に対する NST 介入の症例報告」
- ・講師 成松 聖 (南海医療センター 管理栄養士)
- ・特別講演 : 「糖尿病専門医による指導 ～中断患者の問題点など～」
- ・講師 伊藤 威之 (佐伯中央病院 糖尿病センター長)

#### 2)平成 26 年度第 2 回 栄養部会研修会

- ・平成 26 年 9 月 20 日(土)13:00～17:00
- ・開催場所 大分県医師会館 6 階 研修室 I
- ・出席人数 70 名
- ・一般演題 : 「糖尿病を基礎疾患に持つ低栄養患者に対する NST 介入の症例 検討会」

- ・座 長：田崎 亮子（新別府病院 管理栄養士）
- ・講 師：成松 聖（南海医療センター 管理栄養士）
- ・特別講演：「加齢・寿命と栄養問題」
- ・講 師：唐原 和秀（独立行政法人国立病院機構西別府病院  
九州リンパ浮腫センター 外科部長）

### 3)平成 26 年度第 3 回 栄養部会研修会

- ・平成 27 年 2 月 28 日(土)13:00～17:00
- ・開催場所ホルトホール大分 201・202 会議室
- ・出席人数 120 名
- ・一般演題：「経腸栄養患者の経口摂取状況の転機」
- ・講 師：梅田 百加（佐伯中央病院 言語聴覚士）
- ・一般演題：「退院後の嚥下調整食への取り組み～学会分類 2013 を基準として～」
- ・講 師：杉崎 香（天心堂へつぎ病院 管理栄養士）
- ・一般演題：「当院の摂食嚥下チームにおける管理栄養士の関わり  
～嚥下造影検査食の工夫～」
- ・講 師：廣瀬 明子（佐賀関病院 管理栄養士）
- ・特別講演：「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」
- ・講 師：戸原 玄（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科  
老化制御学系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野 准教授）

### (2)委員会 計 4 回開催

## 4. 社会福祉部会

### (1)研修会

#### 1)平成 26 年度研修会

- ・平成 27 年 2 月 14 日(土)14:00～16:30
- ・開催場所 ホルトホール大分 大分市総合社会福祉保健センター 408 会議室
- ・出席人数 38 名
- ・テーマ 「障がい福祉サービスについて」～制度の概要と事例をとおして～
- ・講 師：第 1 部 前田 隆枝 先生  
(大分市障がい者生活支援センターさざんか 相談支援専門員)
- 第 2 部 古川 聖子 先生  
(大分市障がい者生活支援センターコーラス 相談支援専門員)

### (2)委員会 計 8 回開催

## Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムの構築に向けて大分県病院協会として積極的に活動していく予定である。最終的には、それぞれの地域でオリジナルなものを作らねばならない。病病連携、病診連携、各種施設との連携を通して高齢者、障害児、障害者が暮らしやすい社会になるように最大限の協力を惜しまない。

以上



# 公益社団法人 大分県放射線技師会

会長 江藤 芳浩



## I 平成 26 年度公益事業

### 1. 第 30 回日本診療放射線技師学術大会および第 21 回東アジア学術交流大会

(公社)日本診療放射線技師会主催

(公社)大分県放射線技師会 実施(共催) 大会長 江藤芳浩

平成 26 年 9 月 19 日(金)～21 日(日)、別府国際コンベンションセンターB-ConPlaza

大会テーマ「国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう～調和がもたらす至極の業～」

参加国 10 か国、参加者 1840 名、研究発表 493 演題、講演企画数 48、シンポジウム数 21、

協賛メーカー57 社

### 2. 大分県放射線技師会学術大会(主催)

3-1. (公社)大分県放射線技師会第 19 回学術大会

平成 27 年 2 月 28 日(土)、大分県厚生連鶴見病院 南館 5 階「研修ホール」

特別講演『大動脈瘤の評価基準と大動脈ステントグラフト術前・術後評価』

大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 本郷 哲央 先生

### 3. 放射線量測定事業

平成 26 年度は延べ 35 施設(103 管球)について測定指導および報告書の提出を行うとともに、放射線管理、放射線災害関連の研修活動を行った。

### 4. 学術調査活動

テーマを「可搬媒体(CD-R 等)による医用画像データの受け渡しに関するアンケート調査」として大分県内施設(100 施設)に対して学術調査を実施。

調査結果を「可搬媒体(CD-R 等)による医用画像データの受け渡しに関するアンケート調査報告書」として論文化。

### 5. レントゲン週間イベント(主催)

平成 26 年 11 月 16 日(日)、10:00～15:30、ホルトホール大分のエントランスホールにて開催した。

開催内容は超音波操作体験、放射線被ばく相談、栄養相談、乳がん自己検診啓発、骨密度測定、CT3D画像、パネル展示他。

### 6. げんきフェア(共催)(大分県保健医療団体協議会主催)

平成 26 年 11 月 2 日(日)、大分県社会福祉介護研修センター

県民の健康増進を目的としたブース展示や相談コーナー・健康チェックコーナー等実施。

## 7. 学校訪問授業

大分県内の5校を訪問し放射線および医療に関する授業を行った。

大分市立小佐井小学校、大分東明高校教養看護部、大分市立高田小学校、  
大分市立こうぎき小学校、大分市立佐賀関小学校

## 8. 平成26年度九州地域放射線技師研修会(共催)

平成26年9月6日(土)、熊本森都心プラザ「6F 会議室」

特別講演「診療放射線技師がやるべき読影補助とは」

昭和大学大学院保健医療学研究科診療放射線領域教授 加藤京一

テーマ討論

「我々診療放射線技師がやるべき読影補助について～九州地域の読影補助の実際と課題～」

## 9. 第9回九州放射線医療技術学術大会(共催)

平成26年11月1日(土)～2日(日)、北九州国際会議場

大会テーマ「放射線医療の原点から未来へ～これからの装置管理を考える」

## 10. 第22回大分県放射線技術研究会(共催)

平成26年10月25日(土)、全労済ソレイユ 7階『アイリス』

特別講演Ⅰ「骨・関節領域におけるUS検査の撮影技術とポイント(MRI,CTと対比させて)」

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線技術科 前田 佳彦

特別講演Ⅱ「全面FPD化について～FPD導入の功罪～」

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 技師長 和田 博文

## 11. 第8回大分県医用画像情報管理研究会(共催)

平成26年4月26日(土)、大分県厚生連鶴見病院 南館5階「研修ホール」

特別講演「医療情報における診療放射線技師の役割」

大分大学医学部附属病院 医療情報部 部長 三宅秀敏 教授

## 12. 第9回大分県医療画像情報管理研究会(共催)

平成26年3月14日(土)、医療法人慈恵会 西田病院 「5F 会議室」

特別講演「災害時におけるクラウドの有用性」

NTT コミュニケーションズ株式会社

## 13. 大分県放射線機器管理研究会(共催)

### 1) 第7回大分県放射線機器管理研究会

平成27年2月28日(土)、大分県厚生連鶴見病院 南館5階「研修ホール」

情報講座「X線撮影装置の保守管理について」

株式会社島津製作所 サービス統括部企画グループ 中菌 誠善

## 14. 大分県地域リハビリテーション研究会

### 1) 第 11 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション・ケア研究会合同研修会

平成 26 年 7 月 27 日(日)、別府国際コンベンションセンターB-ConPlaza

講演 1 「大分県の健康増進計画と地域ケア会議～地域リハビリテーション支援体制整備で培ったネットワークへの期待～」

大分県福祉保健部健康対策課 課長補佐 佐藤紀美子

県福祉保健部高齢者福祉課 参事 前田耕作

講演 2 「地域リハビリテーションと地域包括ケアの関係を整理する」

小倉リハビリテーション病院 名誉院長 浜村明德

シンポジウム「地域包括ケアシステムの構築～自立支援に向けた杵築市の取り組み～」

杵築市高齢者支援課 介護保険係長 江藤 修

杵築市地域包括支援センター 保健師 河野 由紀子

杵築市山香福祉ステーション 介護支援専門員 小松 悦子

ひまわりホームヘルパーステーション サービス提供責任者 西 一美

### 2) 平成 26 年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会

平成 26 年 11 月 30 日(日)、別府国際コンベンションセンターB-ConPlaza

講演1 「地域住民で支える地域作り～保健所の関わり～」

大分県中部保健所長 藤内修二先生

講演 2 「介護予防の実際」

大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

## 15. 後援事業

### 1) 第 29 回大分県超音波画像研究会

平成 26 年 11 月 15 日(土)、医療法人 大分記念病院 「多目的ホール」

テーマ講演「膵臓の超音波検査 II」

1. 「膵臓の発生」 有田胃腸病院 武原真一

2. 「膵臓の嚢胞性病変の見方・考え方」 ふるかわメディカルクリニック 黒田慎一

3. 「膵臓の充実性病変の見方・考え方」 垣迫胃腸クリニック 右田清二

### 2) 第 30 回大分県超音波画像研究会

平成 27 年 3 月 7 日(土)、医療法人 大分記念病院 「多目的ホール」

基礎講座 「超音波検査の安全性指標と人体への影響」

(医)慈恵会西田病院 江藤芳浩

症例検討 6 例

### 3) 第 7 回大分県 CT 研究会

平成 26 年 8 月 2 日(土)、大分オアシスタワーホテル 3階「紅梅の間」

特別講演「これからの診療放射線技師の研究への取り組み方」

山口大学医学部附属病院 放射線部 技師長 上田克彦

#### 4)第8回大分県CT研究会

平成27年2月21日(土)、大分県立看護科学大学 看護研究交流センター

情報提供 エーザイ(株)、シーメンス・ジャパン(株)

特別講演「CTを利用した整形外科的治療の経験-股関節を中心に-」

大分大学医学部附属病院 整形外科 病院特任助教 田畑知法 先生

## II. リハビリテーション活動における研究と連携

1. 体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術、撮影補助具作成および医療安全に関する研究
2. 骨密度検査の精度等についての研究
3. ワークステーションによるCT、MRI 画像の加工技術の研究
4. MRI-VSRAD による早期アルツハイマー型認知症診断への貢献
5. 高次脳機能障害、整形分野に関する画像検査法の研究と読影補助
6. 整形分野、関節リウマチの MRI、CT、US 検査法の研究
7. 嚥下造影撮影の工夫、改善
8. 脳梗塞、心筋梗塞の予防に貢献する、頸動脈 US および MRI 検査に関する研究。
9. リハビリの機能評価と画像情報の関連について他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながる検査方法の模索。
10. 広域支援センターの診療放射線技師へ活動の協力を依頼する。
11. 県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
12. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談対応と人材育成。
13. 読影補助による他職種への専門性を生かした情報提供を行う。
14. その他、チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての専門的役割を果たす。

# 公益社団法人 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



## 1. 会の現状

会員数 1,445名(平成27年5月1日現在)

## 2. 活動内容

平成27年4月施行予定である「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」による介護保険法の改正により、介護保険法の地域支援事業に位置づけて実施することとされています。地域支援事業実施要綱第2事業内容に《在宅医療・介護連携推進事業》が改正案として示されています。

このようなことに鑑み、当会では、「地域ケア会議における薬剤師の参画」「地域包括支援センターにおける薬剤師の役割」「多職種による在宅医療について」「在宅医療における衛生材料」等々において研修会を開催した。

## 3. 研修会の開催(開催場所はいずれも於:大分県薬剤師会館)

### ① 期日:平成26年9月20日

講師:(株)ファーマダイワ 岡山 善郎先生

演題:「経営者としての在宅医療への取り組み」

### ② 期日:平成26年10月25日

講師:青森県薬剤師会会長 木村 隆次先生

演題:「多職種協働と薬剤師」「地域包括ケアシステム構築と地域ケア会議」のねらいについて

### ③ 期日:平成26年11月29日

講師:(株)ニプロ

演題:「在宅医療で使用される医療材料」

### ④ 期日:平成27年1月17日

講師:ブンゴヤ薬局 荘司 晃寿先生

演題:「在宅医療に携わって」

講師:やまおか在宅クリニック院長 山岡 憲夫先生

演題:「在宅医療・在宅緩和ケアの現場から一薬剤師として知って貰いたいこと」

### ⑤ 期日:平成27年2月28日

講師:永富調剤薬局 永富 将寛先生

演題:「当薬局における在宅医療」

講師:茨城県薬剤師会 根本 ひろ美先生

演題:「安心して地域で暮らせるために地域介護医療連携情報ネットワーク」

⑥ 期 日:平成 27 年 3 月 28 日

講 師:広島県呉薬剤師会会長 大塚 幸三先生

演 題:「呉市薬剤師会における在宅医療の取り組み」

講 師:広島県呉薬剤師会副会長 佐々木 一彦先生

演 題:「薬局薬剤師の在宅医療—一人薬剤師でもできる在宅訪問の役割」

⑦ 期 日:平成 27 年 1 月 19 日～平成 27 年 2 月 20 日

大分県薬剤師会地域薬剤師会研修会の開催

演 題:「地域ケア会議への参画と在宅医療への取り組み」

講 師:大分県薬剤師会社会福祉委員会委員

#### 4. 地域リハの課題と展望

平成 27 年度上半期における、「地域ケア会議」において専門職である薬剤師の派遣依頼が日田市・国東市・杵築市・佐伯市にあり、派遣したところである。

今後、他市町村へも派遣依頼があることを見据え、「在宅医療の更なる向上」「地域での多職種連携への取り組み」等更なる資質向上を図るべく研修会等を開催する。

また、薬の専門家として、住民の薬物療法全体について、一義的な責任を持って提供する。そして最も気軽に相談できるファーストアクセス機能を活用し、医療・介護の住民窓口として、最初に住民の様々な相談（健康相談、栄養相談、介護相談、医療相談等）を受け付ける。

『かかりつけ薬局・薬剤師』として、かかりつけ医等と連携しながら、それらの機能を一体的に地域住民に提供することにより、健康の維持・増進を図りつつ、困った時の相談役と医療必要時の適切な薬物療法の提供が可能となり、住民の安心・安全な生活の確保に貢献できるよう努める。

# 公益社団法人 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼治



平成26年度は公益事業として例年どおりの介護支援・介護予防キャラバン、公開講座およびスポーツトレーナー活動等の事業に加え、17市町で開催された地域ケア会議助言者および広域支援員の派遣を行いました。

特筆すべき事項として「結果の出せるトレーニングマニュアルー指導者向け実践ガイドー」を刊行し、県下の通所サービス、訪問リハのみならず、一般・回復期病院にいたるまで統一した内容の体力測定が行えるようにし、本当の意味での地域連携・地域包括システムの構築の一助とすることができました。また大分県福祉保健部高齢者福祉課の「自立支援型通所サービス生活機能向上支援マニュアル」の一部として活用していただいたり、県下の通所サービスの実践力向上研修会へ講師派遣を行うなど組織的な対応を行ってきました。

## I. 会の状況 (H27.3.31時点)

[1] 会員数：1,286人

[2] 支部構成：県内6ブロック（大分,別杵速見,県北,県南,久大,豊肥）

## II. 地域リハ関係の活動

### [1] 地域医療,地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

#### 1. 第10回介護予防キャラバン テーマ「結果の出せるトレーニングマニュアル」

日 時：平成27年02月28日（土）

対 象：近隣施設職員 参加者17名（資料費500円）

#### 2. 第18回介護支援キャラバン（リハビリテーション介護の提案ー起居・移乗の介助法ー）

##### ①老人保健施設はね（玖珠郡玖珠町）

日 時：平成26年06月13日（金），対 象：近隣施設職員 参加者49名

##### ②大分三愛メディカルセンター（大分市）

日 時：平成26年09月28日（日），対 象：近隣施設職員 参加者39名

##### ③若宮病院（日田市）

日 時：平成27年02月12日（木），対 象：施設職員 参加者32名

##### ④グループホームおおつるの家（日田市）

日 時：平成27年03月04日（水），対 象：施設職員 参加者27名

#### 3. トランスファー研修会

日 時：平成26年07月06日（日） 中村病院

テーマ：起居移乗の介助動作技術

参加者：38名（会員35名，会員外3名）

#### 4. 公開講演等（対象：一般県民）

- ①日 時：平成26年09月21日（日） 国東市武蔵保健福祉センター  
テーマ：「いつまでも元気に長生きするために～理学療法士がはなす転倒予防の話～」  
参加者：11名（一般県民）
- ②日 時：平成26年10月24日（金）長門記念病院  
テーマ：「失禁予防について」  
参加費：57名（会員56名, 会員外1名）
- ③日 時：平成26年11月16日（日） 宇佐市四日市公民館  
内 容：腰痛予防教室  
参加者：55名（会員39名, 会員外16名）
- ④日 時：平成27年02月22日 フレッシュランドみえ（大原総合体育館）  
参加者：50名（会員19名, 会員外31名）

### [2] 行政等他組織の事業への協力・支援

- 大分県の自立支援型通所サービス生活機能向上支援マニュアル作成への協力
- 大分県福祉保健部高齢者福祉課 生活支援研修会・現認者研修会 講師派遣
- 大分県社会福祉介護研修センター  
運動アセスメントについて, 成功事例発表, 模擬地域ケア会議 講師派遣
- 国東市社会福祉協議会 国東市通所型介護予防事業「運動器の機能向上プログラム」
  - 武蔵圏域 平成26年05月10日（土）～平成27年03月28日（土） 全8回
  - 国東圏域 平成26年06月07日（土）～平成27年02月28日（土） 全8回
- 地域ケア会議助言者研修会及び意見交換会  
日 時：平成26年09月05日（金）中津市役所
- 中津市地域医療政策課 平成26年度元気ハツラツ教室（運動障害とその予防）  
日 時：平成26年08月07日（木） 中津市役所
- 由布市介護予防一次予防事業すこやか健康サロン  
日 時：平成26年08月04日～平成27年03月12日（木） 全6回
- 福岡県保健医療介護部地域ケア会議 模擬ケア会議  
日 時：平成26年12月20日（土） 福岡県
- 各圏域介護保険サービス事業所 実践力向上研修会 講師  
日 時：平成26年07月24日（木）～平成27年02月12日（木）  
圏 域：別府市・津久見市・由布市・竹田市・九重町・国東市・中津市・佐伯市 全9回
- 介護労働安定センター ヘルスカウンセラー（職場における腰痛予防対策）  
日 時：平成26年06月16日（月）～平成27年02月25日（水） 全7回
- 介護認定審査会への認定委員派遣（大分市・日田市・宇佐高田地域・豊後大野市）
- 障害者介護給付費等認定審査会派遣（日田市）
- 地域ケア会議専門職種派遣（大分市・別府市・中津市・日田市・佐伯市・臼杵市・津久見市・竹田市・豊後高田市・杵築市・宇佐市・豊後大野市・由布市・国東市・日出町・九重町・玖珠町）



14. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業
15. 大分県体育協会優秀指定選手メディカルチェックの協力 全8回
16. 大分県ホームヘルパー協議会実技研修 全7回
17. 障害者スポーツ関連活動 日本ボッチャ選手権大会 フィジオルーム運営支援
18. その他（老人会や施設への介護予防, 職員研修事業への派遣・関係団体研修会・学会のシンポジスト等）

### [3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 広報誌「志（こころざし）Vol. 5」発行  
発行日：平成26年06月01日 印刷数：2,000部（A4サイズ, カラー8ページ）
2. 理学療法週間の実施  
期 間：平成26年07月10日（火）～17日（火）  
後 援：大分県社会福祉協議会, NHK大分放送局, OBS大分放送, TOSテレビ大分, OAB大分朝日放送
  - ①一般県民対象イベント  
日 時：平成26年07月13日（日）あけのアクロスタウン, トキハ別府店  
内 容：①介護予防チェック～健康年齢テスト～ ②タペストリー展示 ③理学療法に関する相談会  
④記念品の配付  
参加者：あけのアクロスタウン56名, トキハ別府店28名
  - ②高校生対象病院・施設見学  
実施日時：7月10日～8月31日  
受け入れ施設数：49施設 協力施設：14施設 参加高校生数：68名
3. 介護研修センター祭り・大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」合同開催  
日 時：平成26年11月9日（日）大分県社会福祉介護研修センター  
内 容：①健康年齢チェック ②体操指導 ②タペストリー展示 ③理学療法に関する相談会  
④記念品等の配付  
参加者：87名

### [4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 大分地区の助言者育成研修会  
日 時：平成26年5月15日（木） 井野辺病院 4階研修室  
テーマ：「地域包括ケアシステムとケア会議」  
「助言者に求められること, 事業所に求められること」  
参加者：48名
2. 認知面へのコメント強化と意見交換会  
日 時：平成26年11月19日（水） 井野辺病院 4階研修室  
テーマ：「認知症を有する方への助言のポイント」  
「助言者の問われる姿勢についてグループワーク」「意見交換会」  
参加者：32名

### 3. 地域包括ケア推進リーダー研修会

日 時：平成26年12月21日 看護研修会館

テーマ：「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議とは」「求められる理学療法士の役割」「事例演習」「模擬会議と心構え」

参加者：98名（会員97名，会員外1名）

### 4. 二次予防事業実践マニュアルの作成

「結果のだせるトレーニングマニュアル 指導者向け実践ガイド」

①5月 第1版350部 作成（臼杵市との協働事業）

②7月 第2版500部，ポケット版1，000部 作成

（杵築市，国東市，佐伯市，津久見市，由布市地域包括ケア推進プロジェクトとの協働事業）

### 5. 介護予防実践者向け研修会の開催

日 時：平成26年7月7日 井野辺病院 4階研修室

テーマ：「マニュアルのコンセプトと留意事項」「アセスメントと評価用紙の使い方」  
「トレーニングの実際と指導のポイント」

参加者：95名

### 6. 介護予防推進リーダー研修会

日 時：平成26年12月14日 大分県教育会館

テーマ：「行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業の展開方法」「介護予防の実践」  
「介護予防事業の企画立案」

参加者：100名（会員99名，会員外1名）

## Ⅲ. 地域リハの課題と展望

平成26年度は日本理学療法士協会が創設した上級資格である「地域包括ケア推進リーダー」「介護予防推進リーダー」を，それぞれに本協会員約70名ずつ養成いたしました。通所サービスへの実地支援も各地で開催される中，それらをなせる人材育成も欠かせません。地域包括ケアシステムの構築に向けて，必要とされる専門職団体となるべく平成27年度も研修会を重ねていきたいと考えています。

# 公益社団法人 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



今年度は、公益社団法人として移行元年であり、今まで以上に一般の方々に臨床検査を理解して頂ける様な有益な事業を目指して活動しました。日臨技委託公益事業は、全国「検査と健康展」のみとなりましたが、大分県臨床検査技師会としては、がん予防啓発、AIDS 予防啓発は継続していく事になりました。さらに他の医療団体との活動で“げんきフェア”（大分県保健医療団体協議会 10 団体共催）、大分地域リハビリテーション研究会の活動として「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」「大分地域リハビリテーション研修会」（16 団体共催）の活動や地域で開催される健康イベントへの協力など公益事業が増え臨床検査技師を知っていただく機会が増えてまいりました。

## 【日臨技委託公益事業】

### <全国検査と健康展>

11 月 9 日（日） ホルトホール大分 エントランス

会場来場者 175 名（実務担当者 29 名）

日臨技が昨年から全国一斉に検査と健康展を委託事業として開催するようになった。今回のメイン会場は長崎県佐世保市で 11 月 8 日、9 日の 2 日間にわたって開催された。大分県は、9 日の日曜日に昨年と同じホルトホールのエントランスで開催し昨年よりも検査内容を充実させた。時間のかかる検査は整理券配布で混雑を防止し、随時検査が受付可能な血糖検査や骨密度などは、誘導係りが対応しスムーズに実施できた。待合場所には、DVD で臨床検査の仕事内容などを放映した。健康相談コーナーには、臨床専門医会から派遣して頂いた 2 名の医師と臨時診療所開設者として内科医 1 名の 3 名体制で対応して頂いた。栄養相談コーナーには、(公社) 大分県栄養士会から 2 名の管理栄養士の方にご協力いただいた。糖尿病コーナー・動脈硬化コーナー・肺機能検査コーナー・メタボ検査コーナーなどに分け開催したが、どのコーナーにも列ができていた。各コーナーを分けることで検査の目的も理解して頂き受検者の方々も、希望する検査を絞ることができたようだ。アンケートにおいて来年も受検したいとの回答が 95%あった。

広報：テレビ局 4 社 新聞社 1 社に名義後援依頼

新聞広告：3 日間（事前広告）開催会場にチラシ 200 部

簡易血糖検査	150 名	HbA1c 検査	32 名
肺機能検査	103 名	呼気 CO 濃度	106 名
血管年齢検査	150 名	脈波図検査	28 名
頸部血管エコー	120 名	骨密度測定	106 名
体成分計測（InBody 検査）	103 名		
栄養相談	25 名	健康相談	35 名

一般の方に、健康への意識を高めてもらい健康診断の受診率向上を図ることや、臨床検査技師の職種を理解して頂くことを目的として開催したが、アンケート調査から来場者は、新聞掲載を見て来場された方が多く健康意識の高い方が多かった。

## 【大分県臨床検査技師会公益事業】

### <がん予防啓発事業：リレーフォーライフ大分 2014>

リレーフォーライフ大分 2014

日時：10月11日（土曜日） 10時30分～ 12日（日曜日） 10時

場所：大分スポーツ公園「大芝生広場」

参加者：チーム名「検査 de みつけ隊参加会員 59名」

24時間タスキリレー完歩

活動内容：生き生き健康チェックコーナー 実務協力者 12名

チャリティーイベント

血流測定 453名

血糖測定 420名

骨密度 430名

呼気CO濃度 162名

リレーフォーライフ大分は今年で7回目の開催、県内61チーム、RFL熊本チームも加わり支援者たちをはじめ延べ5900人以上が集まった。大分県臨床検査技師会のチームは「検査 de みつけ隊」を結成して6回目の参加となる。テント企画では、一般の方に呼気CO濃度、骨密度、血管の老化度検査、ストレス度指数計測を実施した。2日目は台風の為、1時間早く閉会式を行う事になり、2日目のテント企画は中止することになった。今回のテーマは「がん検診受診を呼び掛ける」で健診に関するパンフレットやリーフレットの配布も行った。リレーウォークには、会員59名で“検査 de みつけ隊”のタスキを23時間つなぐことができた。雨が降る中を深夜や早朝に駆け付けて、一緒に歩いてくれた方々や眠気と戦いながら一晩中“検査 de みつけ隊”のタスキを繋いでくれた会員のお蔭で完歩賞の賞状を頂くことができた。

## 【他団体との共催公益事業】

### <大分県保健医療団体協議会活動>

#### 第15回げんきフェア

日時：11月2日（日） 9:00～16:00 場所：大分県社会福祉介護研修センター

実務者 6名

骨密度・頸部血管エコー延参加者 260名

大分県保険医療団体協議会（10団体）で毎年開催する“げんきフェア”は、大分県言語聴覚士会が担当で、大分県介護福祉センターで福祉センターまつりとコラボで開催されました。同日に沖縄県での九州支部医学検査学会と重なり実務者の動員が限られた中、臨床検査技師会は骨密度と頸部血管エコーを行い延べ参加者数は260名でした。6名の実務担当者は昼食の時間も取れないほど一般の方の対応に追われていました。

## <大分県地域リハビリテーション研究会>

地域リハビリテーション・介護支援センター合同研修会

日時：7月27日（日）9：00～16：00

場所：ヒューンプラザ 国際会議室

実務委員2名

平成26年度大分県地域リハビリテーション研究会

日時：11月30日（日）8：30～13：00

場所：ヒューンプラザ 国際会議室

実務委員4名

テーマ：地域包括ケアシステム～自立支援を考える～

－生活習慣病予防・早期発見・介護予防－

内容：講演①地域住民で支える地域作り－保健所の係わり－

講演②介護予防の実際

講師：講演①藤内修二 氏(大分県中部保健所所長)

講演②井野邊純一 氏(医療法人畏敬会 井野邊病院 院長)

相談ブース設置：介護予防の相談や健康チェック

肺機能検査・呼気CO濃度測定 参加者16名

## 【各市町村との共催公益事業】

### <第1回竹田市 いきいき健康フェスタ>

日時：9月7日（日）8：30～16：30

場所：竹田市 久住公民館

竹田市の保健所の企画で第1回竹田市いきいき健康フェスタを開催することになり大分県臨床検査技師会に協力依頼があり後援した。

特定健診の受診率向上を目的としているとの事から、当会では頸部血管エコー、簡易血糖測定、Inbody 検査（体成分測定）を一般の方に実施して保健指導に繋がる活動を行った。

頸部血管エコー 52名

簡易血糖検査 110名

Inbody 検査 72名

参加者延べ 234名（実務担当者 14名）

\*10月5日（日）日田市健康福祉まつり

協力依頼があったが、台風接近のため前日に中止になった。

## (総括)

昨年まで日臨技委託公益事業となっていた‘がん予防啓発活動’や‘AIDS 予防啓発活動’などが各県主催の活動となり、当会では、がん予防啓発活動の RFL での活動は例年通り継続していくことにしました。AIDS 予防活動は、保健所なども行っていますが重複する活動でもあるため2年

に 1 回で講演会等を企画していく予定です。今後も他団体との共同開催の公益事業には積極的に活動できる体制を整えていきたいと考えています。特に各市町村での健康イベントには協力依頼をいただき開催目的を確認した上で、希望に沿った検査内容を提案していきたいと考えています。

大分県臨床検査技師会の創立 60 周年及び公益法人移行が重なりそれを記念し、当会の活動記録として「記念誌」を発行しました。これは、2000 年に創立 45 周年記念誌を発行したその後の活動記録です。さらに、平成 27 年 2 月 22 日（日）にはレンブラントホテルにて公益社団法人移行記念式典を開催しました。日本臨床衛生検査技師会の宮島会長、九州各県会長や大分県の医療団体の各代表者の方々にご列席いただき盛会裏終了できましたこと感謝申し上げます。

その他の活動として、学術部活動では平成 26 年度 39 回の生涯教育研修会を開催し延べ 1,265 名の方に参加していただきました。平成 26 年度は認定・資格取得を目指してということで活動をしてまいりました。

部門研修会として、生物化学分析部門 3 回、染色体・遺伝子部門 1 回、臨床微生物部門 3 回、輸血細胞治療部門 5 回、臨床生理部門 12 回、臨床血液部門 3 回、臨床一般部門 5 回、病理細胞部門 6 回、臨床検査総合部門 2 回、今後も同様に認定技師の育成に努力して行く所存です。

その他の学会や講演会関連は、大分県技師会新人研修会を 10 月に、精度管理調査報告会は 12 月に医師会と共催で開催しました。また、1 月には学術合同講演会を 2 月には大分県臨床検査学会を行いました。日臨技九州支部の卒後研修会として 2 月 1 日に臨床生理部門の研修会を担当し各県から 84 名の参加がありました。

精度管理事業は『大分県医師会精度管理調査』と『臨床検査データ標準化事業』の 2 本柱で実施しています。大分県医師会精度管理調査は 27 年、臨床検査データ標準化事業は 8 年の実績があり、施設の臨床検査の質の向上と維持に欠かせない事業となっています。

組織部の活動として、大分地区 2 回、別杵地区 7 回、県北地区 4 回、県南・豊肥地区 5 回、県西地区 5 回、地区合同研修会 1 回の研修会を開催し、最新の検査技術やチーム医療での院内感染や救急医療など多岐に渉る研修会の中で、臨床検査技師に必要な情報などを研修しています。

## （おわりに）

大分県地域リハビリテーション研究会は、現在 18 団体で構成されています。

臨床検査技師会との関わりは、地域包括ケアとして捉えると地域や自治体を含めたチーム医療と考えられます。地域の中で生活し、病院（入院）だけでなく施設や在宅医療・自宅介護などで通院することになると、私たちとの関わりは当然繋がってきます。病院の中でさらに検査室で患者さんの検体を見るのではなく、患者さんの背景を広い視野で観るためには、他団体との研修が必要だと思われまます。平成 24 年 9 月に日臨技認定認知症領域検査技師制度が設けられました。認知症の予防並びに認知症患者の治療の場において、病態を理解した臨床検査技師が対応することで、患者と家族の不安を軽減し、臨床検査に関する専門性を生かして認知症の診断・治療を担当するチーム医療の一員として参加できる臨床検査技師を育成・確保することを目的とされています。今後も大分県地域リハビリテーション研究会との関わりの中から、臨床検査技師にできる業務を見据えていきたいと考えています。

# 公益社団法人 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



## 1. 会の現状〈会員数等〉

会員数：306名(平成27年3月30日現在)

## 2. 地域リハ関連の活動・取組み

### (1) 第11回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日時：平成26年7月27日(日) 会場：別府ビーコンプラザ 国際会議室  
スタッフにて参加

### (2) 平成26年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会

日時：平成26年11月30日(日) 会場：別府ビーコンプラザ 国際会議室  
スタッフにて参加

### (3) 運営部会の開催

- 第1回 平成26年4月28日(月)
- 第2回 平成26年6月11日(水)
- 第3回 平成26年7月14日(火)
- 第4回 平成26年8月18日(月)
- 第5回 平成26年10月6日(月)
- 第6回 平成26年11月10日(月)

### (4) 役員会の開催

- 第23回 平成27年5月12日(月)
- 第24回 平成27年3月17日(月)

## 3. 主催の研修会(地域リハ関連、その他で団体によっての特徴的な研修等)

### (1) 第6回大分県臨床工学会の開催

平成26年10月26日(日)

場所：大分市医師会立アルメイダ研修会館 5階 研修ホール  
参加者 179名

### (2) 第6回公益社団法人大分県臨床工学会市民公開講座

日時：平成26年10月26日(日)

場所：大分市医師会立アルメイダ研修会館 5階 研修ホール  
演者 移植コーディネーター 小野 美代子様

「臓器移植について」～家族と話そう。命について～

#### 4. 学術技能に関する活動

(1) 平成26年度 教育セミナー「食事と検査」

平成26年8月24日(日)

場所：大分三愛メディカルセンター 会議室 参加者：65名

(2) 平成26年度 教育セミナー(呼吸編)

平成26年10月19日(日)

場所：大分銀行ドーム 会議室 参加者：61名

(3) 平成26年度 教育セミナー(循環器編)

平成27年1月25日(日)

場所：別府医療センター 会議室 参加者：70名

(4) 平成26年度 教育セミナー(代謝編)

平成27年3月8日(日)

場所：大分三愛メディカルセンター 会議室 参加者：120名

(5) カルニチンについて考える会

平成26年6月3日(火)

場所 宇佐高田地区 ホテル清照 参加者：62名

(6) カルニチンについて考える会

平成26年6月26日(木)

場所 佐伯地区 参加者：68名

(7) カルニチンについて考える会

平成26年7月7日(月)

場所 中津地区 グランプラザ中津ホテル 参加者：58名

(8) カルニチンについて考える会

平成26年8月5日(火)

場所 大分地区 大塚製薬(株)大分出張所 参加者：75名

(9) カルニチンについて考える会

平成26年8月28日(火)

場所 日田地区 ホテルソシア 参加者：50名

(10) カルニチンについて考える会

平成26年10月7日(火)

場所 長崎県 平安閣 参加者：80名

(11) カルニチンについて考える会

平成27年2月26日(木)

場所 国東、別府地区 ホテルサンバリー 参加者：60名

(12) 第33回大分人工透析研究会支援参加協力

平成26年9月13日

場所 大分市(トキハ会館)

(13) 第47回九州人工透析研究会支援参加協力

平成26年11月30日

場所 大分市(iichiko総合文化センター、全労済ソレイユ、大分オアシスタワーホテル)



## 5. 関連団体との交流に関する活動

### (1) 大分県保健医療団体協議会(平成26年度副会長)における活動

- 平成26年4月8日 第6回理事会開催 大分赤十字病院会議室
- 平成26年5月20日 第1回理事会開催 大分赤十字病院会議室
- 平成26年10月23日 元気フェア運営部会開催 大分赤十字病院 会議室
- 平成26年11月2日 第15回げんきフェア開催 大分県社会福祉介護研修センター
- 平成27年2月3日 第2回理事会兼懇親会開催 シュミネ

### (2) 災害対策における関連団体との情報ネットワークの構築

- 平成26年7月10日 ・台風8号による被災状況を確認(県内施設)
- 平成26年9月1日 ・日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力
  - ・“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協力(県内施設へ参加の呼び掛け)
- 平成26年9月下旬 ・“災害情報ネットワーク登録(更新)のお願い”を各施設に送付
  - ・“災害情報ネットワーク登録のお願い”を(株)アステムおよびアイティーアイ(株)に送付
- 平成27年3月8日 ・熊本中央病院(橋口氏)と九州のネットワーク作成について意見交換  
(教育セミナー代謝編講師で来県時に三愛メディカルセンターにて)

## 6. 課題と今後の展望

災害情報ネットワークの完成を目指す

平成26年3月31日現在

登録施設 64施設(73施設中)

# 大分県臨床心理士会

会長 佐藤 晋治



## 1. 会の現状

正会員 212名、準会員 21名 (平成27年3月末 現在)

〔部門〕研修、子育て・発達支援、学校臨床、産業、医療保健高齢者・HIV、被害者支援、倫理、  
広報、代議員、事務局

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### (1) 会議への参加

- ・第12回拡大運営会議 平成26年5月21日(水) 湯布院病院 (出席者：出口直子)
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 26年度の役員会議・運営会議 井野辺病院  
役員会：年2回(出席者：出口直子) 運営部会：年5回(出席者：羽坂雄介、宗申也)

### (2) 研修会の参加・発表

- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第5回 医療保健領域担当者研修会  
日時：平成26年12月7日(日) 10:00~16:00 場所：日本臨床心理士会事務所会議室  
内容：講義「身体疾患患者へのメンタルケアモデル開発に関するナショナルプロジェクトの進展」  
講師：野田隆正先生(国立精神・神経医療センター病院 脳病態統合イメージング  
センター 臨床脳画像研究部 臨床光画像研究室)  
・各県の取り組み報告：愛媛県、熊本県  
・日本臨床心理士会医療保健領域委員会活動報告 ・グループ討論及び報告  
\*参加：出口直子(農協共済別府リハビリテーションセンター)
- ・大分地域リハビリテーション・ケア研究会大会  
日時：平成26年11月30日(日) 9:30~12:30 場所：別府ビーコンプラザ 国際会議室  
テーマ「地域包括ケアシステム ～自立支援を考える～ 生活習慣病予防・早期発見・  
介護予防」  
\*大分県臨床心理士会の展示ブース、相談コーナー設置  
(臨床心理士会会長以下9名参加)

### (3) 医療保健高齢者・HIV部門主催自主企画・研修会

- ・第9回 医療現場に携わる臨床心理士の集い「顔のみえる『本当の』ネットワークづくり  
マップ作りに参加しよう！」  
平成26年10月7日 ホルトホール会議室408 参加者：21人

**(4) 「大分リハビリテーション心理研究会」の開催** 年7回開催

場所：別府リハビリテーションセンター、井野辺病院

**(5) HIV/AIDS 部門活動 ～平成 25 年度大分県エイズカウンセラー派遣事業～**

① エイズカウンセリング

平成 26 年度大分県エイズカウンセラー派遣事業として、20 時間の心理支援を行った。

② カウンセリング関連会議・研修会への参加および協力

- ・大分県主催 HIV 相談員研修会講師 H26. 12. 5 (於大分市 関口、西村、山口)
- ・九州沖縄地区 HIV カウンセリング連絡会議・研修会 (H26. 2. 27 於福岡市：稗田)

③ その他

- ・大分県エイズカウンセラー派遣事業連絡会議 (5 回 於別府市)  
H26. 4. 15 H26. 4. 30 H26. 7. 15 H26. 12. 1 H27. 2. 3

**3. 地域リハ活動における課題・今後の展開**

他団体の方からの多大なご協力をいただきました臨床心理士の国家資格化のご報告いたします。

臨床心理士の国家資格化は「公認心理師法案」として平成 26 年 6 月に通常国会に提出されましたが、臨時国会で解散のため廃案となりました。しかし、27 年 3 月 30 日の自由民主党の「心理職の国家資格化を推進する議員連盟総会」にて今国会で再提出されることが承認されている状況です。

平成 26 年度はまだマンパワー不足で、当会として地域リハ活動に十分に取り組める段階には至りませんでした。地域リハに関心を持ち活動するメンバーが徐々に増えてはきています。引き続き、地域の方への心理的支援、家族支援、社会復帰支援などに対して臨床心理士として関わりをもっていけるように活動をおこなって参ります。

平成 26 年度も全国一斉「こころの健康電話相談」に大分県臨床心理士会として参加し県民の方から相談を受けることができました。

来年度も、より一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。